

第73回 全日本都道府県対抗

剣道優勝大会

令和7年

日時

4月29日(火・祝)

開会

午前9時20分

会場

和歌山ビッグホエール



主催 公益財団法人 全日本剣道連盟

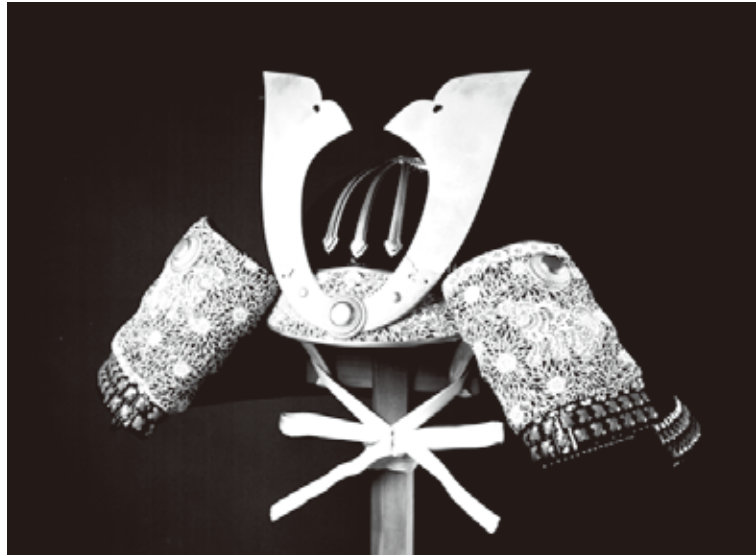
毎日新聞社

主管 和歌山県剣道連盟

後援 和歌山県

和歌山市

優勝兜



藍韋威二十八間筋兜

甲冑師 三浦公法 作

本兜は、奈良県春日大社に南北朝時代の甲冑として国宝に指定されている^{どうまる}胴丸に具備する兜を、綿密な調査の基に製作したものであります。

兜は、頭を覆う半円球形を「鉢」と呼び、^{ていけい}梯形の鉄板を一枚ずつ、鋸ではぎ合せて二十八間に作り、表面を黒漆塗りにて仕上げられております。

また、鉢に合体し、首を防御する部分を、「^{しころ}鞆」と言い、^{きがわ}牛の生革を小さな札に裁断した「^{こざね}小札」を約八百枚作り、これらを一枚、一枚、^{かわ ひも}韋の紐で横にからみ、五段に構成し、漆を何度も塗り固め、次に、各段を鹿の^{かわ あい}韋を藍で染めた^{ひも おどし}紐で「威」してあります。

さらに、正面、左右の後方に反り返っている部分は、「^{ふきかえし}吹返」といい、鹿の白なめし^{かわ}韋に模様を抜いた染型を置いて、^{あい べに}藍や紅で染めた^{えがわ}絵韋が張られております。

兜の豪華さを強調する^{くわがた}鉾形を始めとする装飾金物は、銅を地金として彫金し、その上に純金を水銀にとかしたものを、焼き付けする古来の^{きんときん}金鍍金の手法で仕上げられております。

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとらとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形（かたち）の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
全日本剣道連盟

ご挨拶



公益財団法人 全日本剣道連盟
会長 網代 忠 宏

若草萌える「昭和の日」に全国各都道府県を代表する選りすぐりの剣士をここ和歌山ビッグホエールに迎え、第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会を開催できますことは誠に喜びにたえません。和歌山県での開催はコロナ禍の令和3年12月に無観客で開催した以来となります。今回は、多くの観客の声援と共に大会が実施できますことは大変意義深いこととあります。

本大会は、戦後、全日本剣道連盟が発足した直後の昭和28年に始まり、歴史を重ねてまいりました。選手構成も何度か見直しを行い、第57回大会より、先鋒を高校生、次鋒を大学生とし、5将からは職業・段位・年齢の区分毎に選ばれた選手7名による男子の大会といたしました。生涯剣道ならではの選手構成となり、年齢別・職業別の代表者による素晴らしい大会となりました。

本大会に出場の選手各位には、郷土の名誉をかけて実力を遺憾なく発揮し互いに技を競い、少年・青年剣士を魅了する素晴らしい試合を繰り広げられることを期待いたします。また、この機会に全国の剣士と絆を深められ、貴重な経験を得られるよう希望いたします。

昨今、幼少年人口の減少により若年層の剣道人口の伸び悩みが見られますが、反面、中高年並びに女性剣士の増加、更には、海外における剣道の普及発展には目を見張るものがあります。また、中学校での武道必修化により、子ども達だけでなく多くの方々に剣道の良さが伝わり、愛好者の増加にもつながることを期待しております。

全日本剣道連盟といたしましては、今後も剣道の一層の普及発展を図るための諸施策を推進し、広く青少年の健全育成に寄与していく所存であります。各都道府県剣道連盟におかれましても大会の予選会を開催するなど、剣道の普及・広報活動にご尽力いただきたくお願い申し上げます。

結びに、永年にわたり本大会を共催戴いている毎日新聞社、ご後援戴いている和歌山県・和歌山市、主管団体として運営にご尽力されております和歌山県剣道連盟に深甚の謝意を表し、挨拶といたします。

祝 辞



和歌山県知事職務代理者
和歌山県副知事 宮 崎 泉

「第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会」が、4年ぶりに本県で盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、御来県の選手及び関係者の皆様を心から歓迎いたします。

我が国古来の伝統と歴史に培われた剣道は、勝負の場においても礼節を尊び、自らを律し相手を尊重する態度が重んじられる競技です。技を磨き身体を鍛えるだけでなく、心も磨く剣道の精神を学ぶことは、豊かな人間形成や青少年の健全育成に大きな役割を果たしているものと確信しております。

そして、全日本剣道連盟主催三大大会の一つと言われる本大会は、各都道府県の予選を勝ち抜いた様々な世代の強豪が集まり、都道府県の総合力が試される大会です。このような大会が、本県で開催されますことは、県民のスポーツに対する意識や関心をより一層高め、本県のスポーツ振興に大いに寄与するものであります。

選手の皆様には、日頃の厳しい稽古で鍛えられた技を十分に発揮し、白熱した戦いを繰り広げられることを期待いたします。

また、県外からお越しの皆様には、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に代表される文化や景観のほか、豊かな自然と本県が誇る海の幸や山の幸など、「聖地リゾート！和歌山」の魅力に触れていただき、和歌山でのよき思い出としていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催に御尽力いただきました関係者の皆様に深く敬意を表すとともに、大会の御成功と選手の皆様の御健勝を祈念いたしまして、歓迎の言葉といたします。

ご挨拶



和歌山県剣道連盟会長
衆議院議員 世 耕 弘 成

このたび、「第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会」が、盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

ここ和歌山ビッグホエールに、各都道府県を代表する精鋭剣士の皆様方をお迎えできることは大変光栄であり、歓迎申し上げます。

我が国独自の武道として受け継がれた剣道は、日本人が持つ精神力と集中力の賜物であり、洗練された技と魂が見事に調和した世界に誇る日本の武士道です。剣道は、稽古を続けることによって心身を鍛練し、人間形成を目指しています。

生涯剣道を実践されている剣士の皆様方に敬意を表します。

本日出場されます剣士の皆様方には、日々の鍛錬の成果を思う存分発揮され、郷土の名誉をかけて熱戦を繰り広げていただきたいと思います。また、本大会が全国各地の剣友との積極的な意見交換の場となり、「絆」を深められることを期待しています。

最後になりましたが、本大会を主催いただいた毎日新聞社、公益財団法人全日本剣道連盟はじめ関係する皆様方に深甚なる敬意と謝意を表し、本大会の成功を心から祈念申し上げます。

大会次第

1. 係員集合	7:45
2. 監督・選手集合	8:30
3. 役員・審判員整列	9:20
4. 監督・選手整列	9:20
5. 開会式	9:20～9:50
6. 日本剣道形	9:50～10:00
7. 試合	
1回戦6試合場(各2～3試合)	10:00～12:00
2回戦6試合場(各2～3試合)	12:00～14:00
3回戦6試合場(各1～2試合)	14:00～15:20
4回戦4試合場(各1試合)	15:20～16:00
準決勝2試合場(各1試合)	16:00～16:40
決勝1試合場(1試合)	16:40～17:20
8. 閉会式(表彰)	17:20～17:45

開会式

1. 選手整列	9:20
2. 国歌斉唱	
3. 優勝兜返還	
4. 優勝旗返還	
5. 挨拶	
6. 関係者紹介	
7. 試合上の注意	
8. 選手退場	9:50

閉会式

1. 役員・選手整列	17:20
2. 表彰	
3. 挨拶	
4. 退場	17:45

大会要項抜粋

1. 趣旨

各都道府県剣道連盟から、年齢別、職業別の代表者によって構成されるチームにより、互いに技をきそい、その向上に努め、剣道の普及、発展を図る。

2. 出場選手資格および選出方法

- (1)各都道府県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟登録者規定に適合している者。
- (2)各都道府県剣道連盟より、次の男子7名による1チームを出場させる。
選手編制はプログラム選手一覧表(P.14～25)を参照。

3. 試合・審判および試合方法

- (1)全日本剣道連盟 剣道試合・審判規則と同細則による。
- (2)試合は、トーナメント方式により優勝、第2位、第3位(2チーム)を決定する。
- (3)試合は3本勝負とし、試合時間は先鋒(高校生)4分、次鋒以降5分とする。

勝敗が決しない場合は、引き分けとする。

勝者数、総本数が同じ場合は、代表者戦を行う。

代表者戦は、大将より行い1本勝負とし、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行う。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで勝敗が決するまで継続する。

4. 表彰

- (1)優勝チームに優勝旗、優勝兜および賞品を授与する。
- (2)優勝より第3位まで賞状および賞品を授与する。
- (3)優秀選手には優秀選手賞を授与する。

大会役員

(順序不同)

大会会長 網代忠宏

大会副会長 真砂 威 藤原崇郎 世耕弘成

大会顧問 上田憲幸 福本修二 大嶽將文 小倉昇
忍足功 梯正治 大黒郷源 小坂達 小中田 小宮坂 中田 中宮坂 宮坂信之 末平佑二 三宅一志 鈴木黒目 黒木黒大 生作 田坂 明士之

大会参与 武田牧雄 三上順一 小松 誠 安部美知雄
小笠原宏志 井上雅一 長谷川弘一 水田重胤 部田重胤 美則
白石正範 小荻萩二木むつみ 栗南二 高信廣 千大堤長田三川野竹 葉門俊周秀悦春良雅 進彦作和男生三昭
野見山外一文法章則悟俊實 中神岸藤尾上百 野谷田川方里留 伊藤高青橋横 吹田木柳口尾 高文長弘俊光英 弘明久伸彦博治 榮中原上村内

大会委員長 中谷行道

大会副委員長 蒔田実 香田郡秀

大会委員 上浦かなえ 軽米満世 佐藤厚子 篠原政美
谷勝彦 内藤常男 長尾田佳子 濱崎島浩 美
櫻井美香 秋山嶋恒 小池田佳子 井笠村浩 二
太田健一郎 岡下博政 久保木優人 佐伯瀬朋 美
金井優子 木常田多岡成 俊野徹人 成山奈中 惠
高橋昭博 本吉小 武吉吉 藤田篤 士泰篤 津夫将 一
灰谷達ます子 岡風 成 成 成 成 成 成 成 成 隆
横安保洋子 小風 成 成 成 成 成 成 成 成 隆

競技役員

(順序不同)

実行委員長	太田進也						
実行副委員長	松原徹	高澤彰	安村充司	西村紹男			
実行委員	宇治田善信 當仲淳史	戸川定昭 濱口仁史	岡本善樹 向井俊明	橋本光			
総務 [総括]	小林晋一 斎藤諒 新美俊太郎 長谷弘司 杉若雅夫	加古恵太 深見亮 野澤豪 小杉栄樹 菅谷千恵子	高橋嶺香 倉ノ下萌 和栗諒 菅栗暢 塚本浩	長濱直弥 鈴木淳子 五十嵐一真 後藤勝文 前了斗			(近大和歌山高8名)
ライブ配信・SNS発信	情報小委員会						
案内・警備	中本智也	木下一成					(和歌山工業高3名)
来賓・役員受付	木下典	瀬戸典子	村松樹里				(桐蔭高3名)
監督受付(28日)	川口嘉奈子	瀬戸典子					
審判	夏目康弘 山本尚	貴志元昭 立石充	秋山博紀	立石裕視			
竹刀検査	稲葉弘樹 橋本大志 木村竜也 鳥本聡	黒瀬太一 森向日誠 大西卓	四宮秀一郎 岸本和之 向井豪志 奥村裕	千葉勇基 鎌田靖浩 藤井健史			(和歌山北高4名) (和歌山工業高2名)
式典・表彰	石井卓 鳥本聡	奥村裕 藤井健史	大西誠	向井豪志			(和歌山工業高5名)
放送	川口嘉奈子	唐木裕子					
試合場	木原克之 木下大輔 西峯啓介	(和歌山北高8名) (和歌山工業高8名) (和歌山工業高8名)	小川将広 小林要 上田秀人	(和歌山東高8名) (近大和歌山高8名) (桐蔭高8名)			
掲示板	小幡智	松元雅志	藤田義人	(近大和歌山高6名)			
駐車場係	桑島英樹 森本知子	池田貴章 石井美和子	城哲学 山谷真希				
接待	岩尾有紀子	瀬戸典子	村松樹里	(和歌山工業高5名)			
電光掲示板	松元雅志						
日本剣道形補助	村田寛法	小倉健志					
医師	横山省三						

審判員

審判長 亀井 徹(熊本)

◎ **第1試合場** 主任 吉村哲夫(神奈川)

- | | |
|----------------|---------------|
| ① 宮戸伸之(和歌山) | ① 北村真一(愛知) |
| 1組 ② 栄花英幸(北海道) | 2組 ② 江藤善久(大阪) |
| ③ 國友秀三(福岡) | ③ 鹿内修(青森) |

◎ **第2試合場** 主任 関川忠誠(千葉)

- | | |
|--------------|--------------|
| ① 吉田泰将(東京) | ① 吉田一秀(大阪) |
| 1組 ② 湯澤寛(秋田) | 2組 ② 竹内司(岡山) |
| ③ 今村了介(熊本) | ③ 名生伊智郎(宮城) |

◎ **第3試合場** 主任 大河内鉄彦(愛知)

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 寺地賢二郎(東京) | ① 本名和彦(茨城) |
| 1組 ② 塩澤好和(栃木) | 2組 ② 高橋英明(京都) |
| ③ 清田浩之(和歌山) | ③ 濱田英徳(奈良) |

◎ **第4試合場** 主任 小山正洋(静岡)

- | | |
|---------------|--------------|
| ① 桑原慶二(香川) | ① 平野誠司(徳島) |
| 1組 ② 八木克潔(滋賀) | 2組 ② 清野忍(山梨) |
| ③ 川野学(福井) | ③ 平尾泰(東京) |

◎ **第5試合場** 主任 原 義克(埼玉)

- | | |
|----------------|---------------|
| ① 田中久夫(静岡) | ① 丸橋利夫(千葉) |
| 1組 ② 宮崎史裕(神奈川) | 2組 ② 伊藤明裕(兵庫) |
| ③ 稲田豊(山口) | ③ 友弘浩二(山口) |

◎ **第6試合場** 主任 井上 孝(香川)

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 坂田秀晴(山梨) | ① 佐賀豊(北海道) |
| 1組 ② 山中章義(広島) | 2組 ② 藤原康宏(東京) |
| ③ 岩脇司(石川) | ③ 三浦秀人(大阪) |

- [備考] 1 4回戦は、**第1・第2・第3・第5試合場**で実施。
準決勝戦は、**第2・第5試合場**で実施。決勝戦は、**第2試合場**で実施。
2 ()内は、登録の都道府県剣道連盟。

公開演武者

〔日本剣道形〕

日本剣道形は、大正元年、各流派の優れた技をもとに制定されたもので、太刀の形7本、小太刀の形3本、計10本より成り立っております。最も理にかなった、刀の操作法が組み込まれており、剣道の神髄を追求し、技の理合を極めた剣道修練の基本となるものです。

打太刀



剣道教士 八段 宮戸伸之

仕太刀



剣道教士 八段 清田浩之

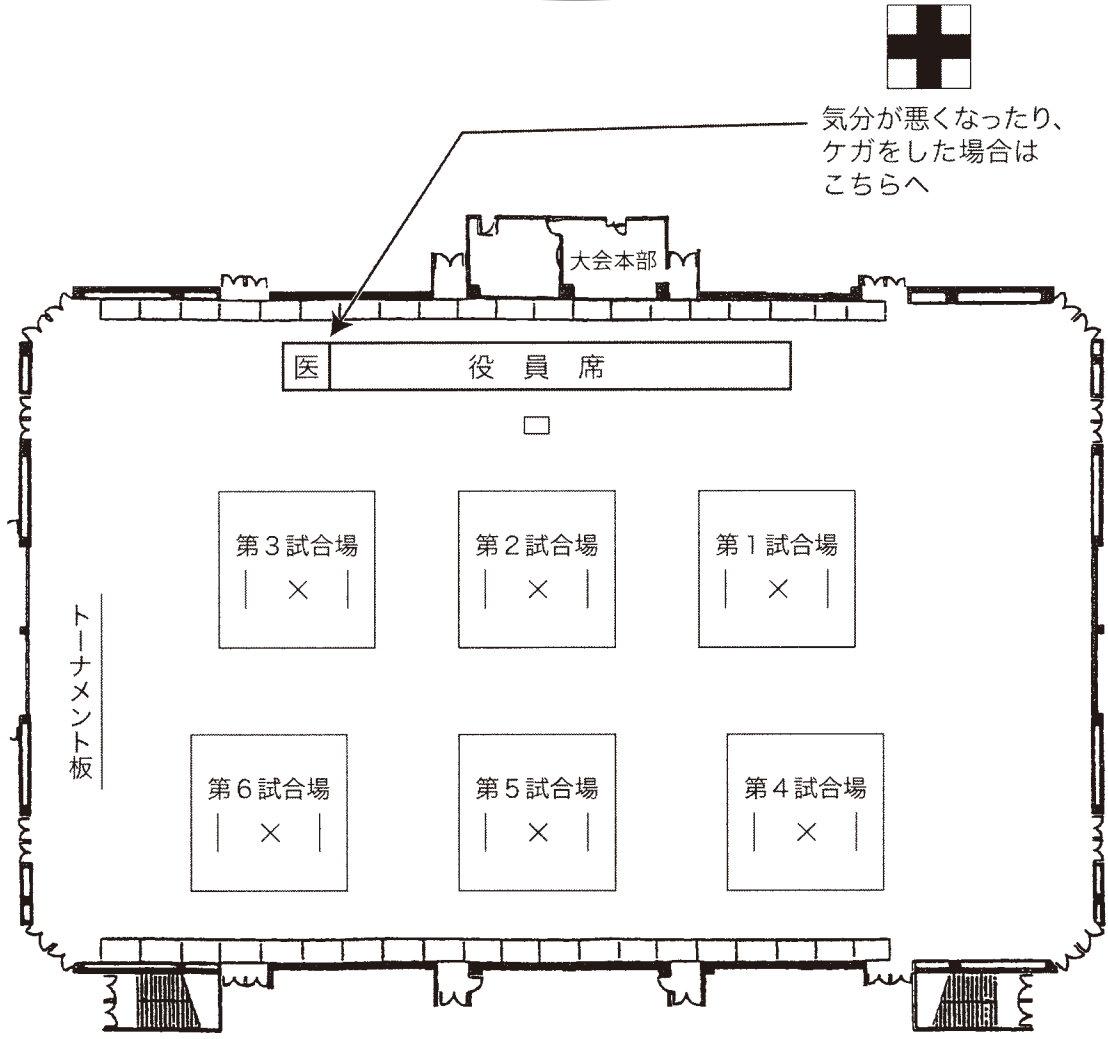
大会等におけるビデオ撮影等について

全剣連が主催する大会、審査会、講習会及びその他の行事（以下「大会等」という。）における写真・動画の撮影及び音声の録音（以下「ビデオ撮影等」という。）並びに撮影した映像及び録音した音声（以下「撮影映像等」という。）の取扱いについては、次のとおりとするほか、各大会等の開催要項で定めるところに従うこと。

- 1 大会等の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。
- 2 大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
- 3 大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

以上

試合場図



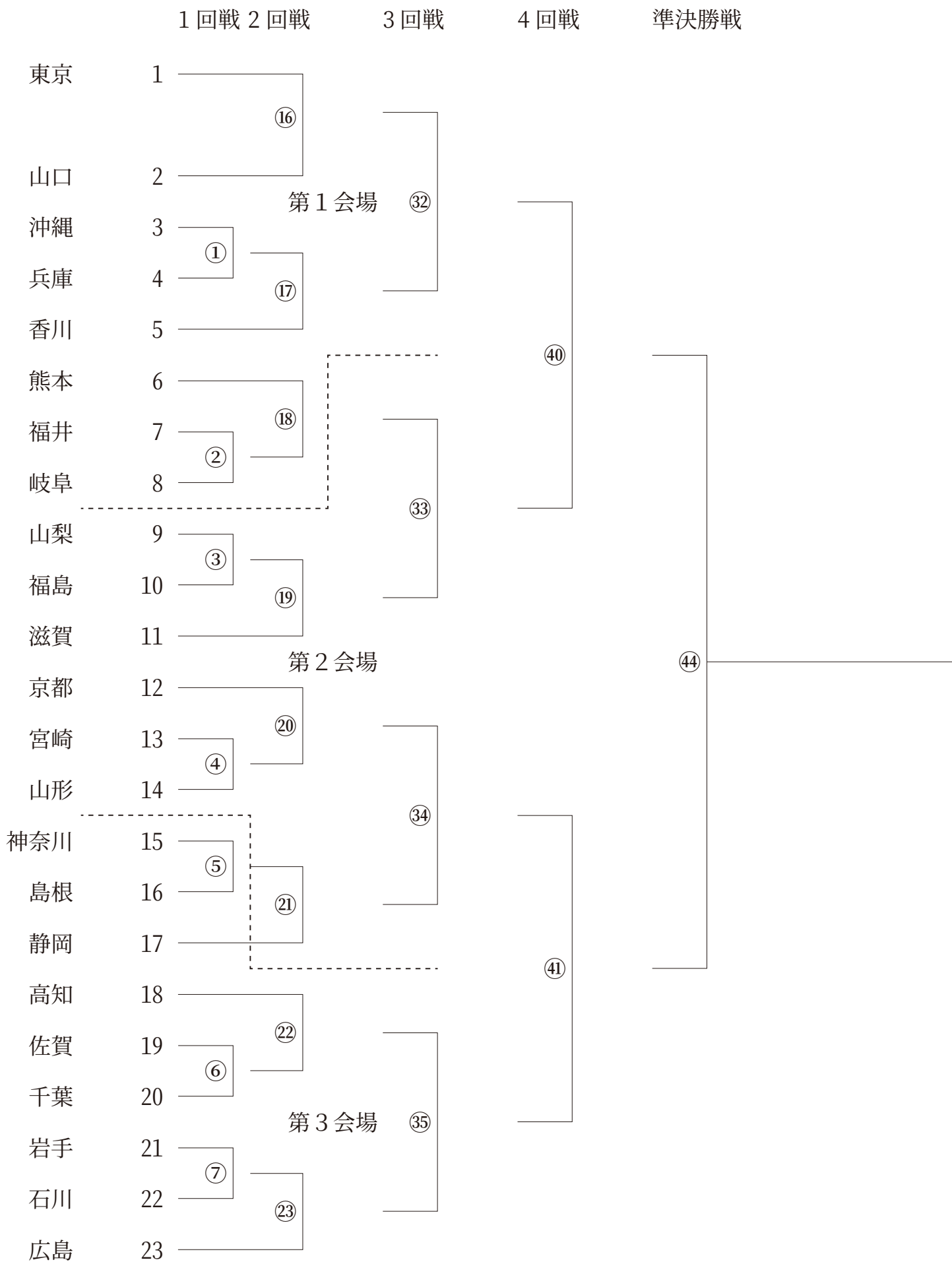
各試合場で行う試合

* 番号はプログラムの組合せ表 (次の頁) を参照

	6会場			4会場	2会場	1会場
	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	準決勝戦	決勝戦
第1試合場	① ②	⑬ ⑭ ⑮	⑳	㉑		
第2試合場	③ ④	⑯ ⑰ ⑱	㉒ ㉓	㉔	㉕	㉖
第3試合場	⑤ ⑥ ⑦	㉔ ㉕	㉖	㉗		
第4試合場	⑧ ⑨	㉖ ㉗ ㉘	㉙			
第5試合場	⑩ ⑪ ⑫	㉘ ㉙	㉚ ㉛	㉜	㉝	
第6試合場	⑬ ⑭ ⑮	㉙ ㉚ ㉛	㉜			

* 大会運営のため、試合場が変更される場合もあります。

第 73 回 全 日 本 都 道 府 県

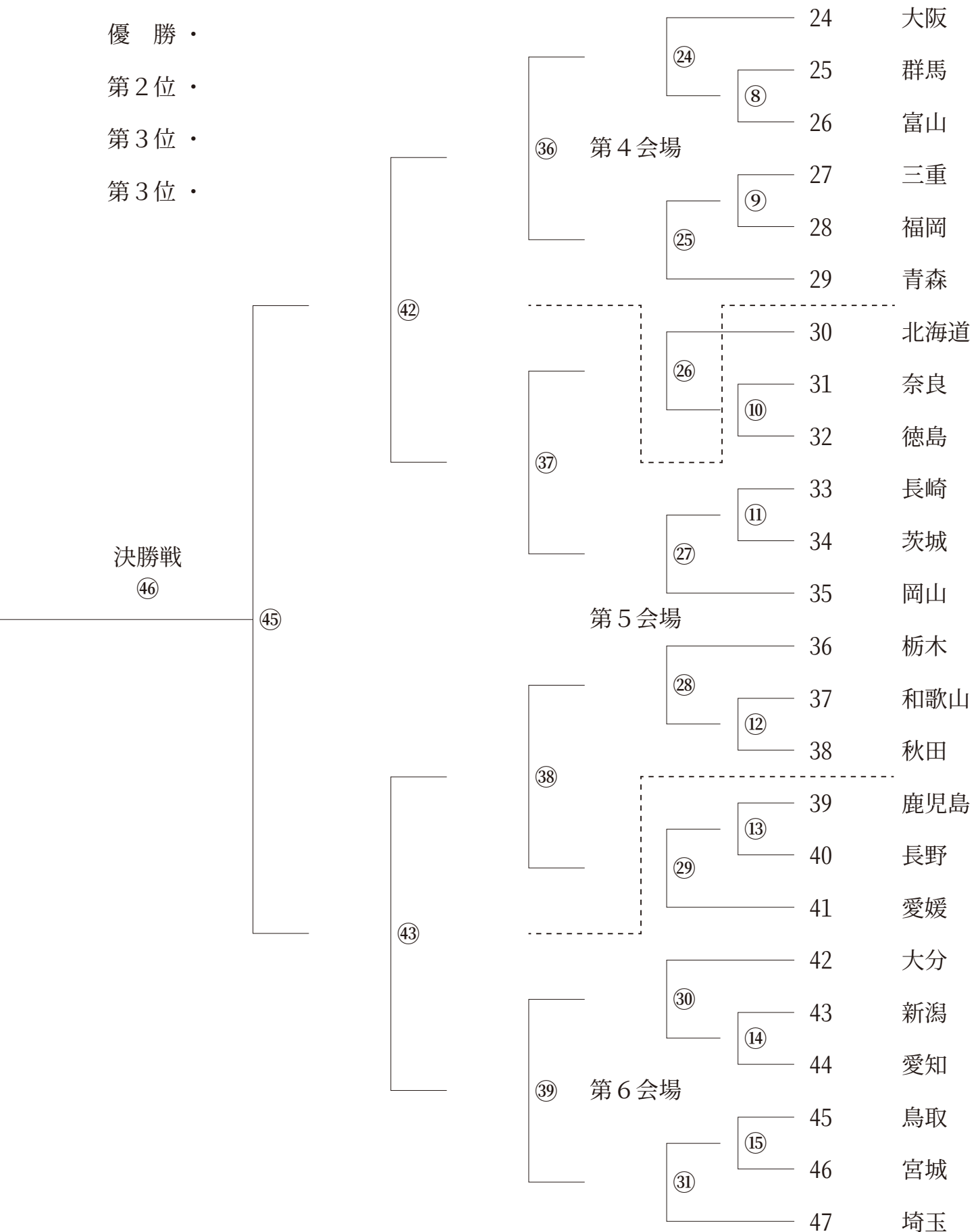


対抗剣道優勝大会組合せ

(令和7年4月29日(火・祝)・和歌山市)

準決勝戦 4回戦 3回戦 2回戦 1回戦

優勝・
第2位・
第3位・
第3位・



選手一覧表

- 出場選手資格 (1) 各都道府県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟登録者規定に適合している者。
- (2) 各都道府県剣道連盟より、次の男子7名による1チームを出場させる。
- 先鋒……高校生
次鋒……大学生
5将……年齢18歳以上35歳未満の者、警察職員・教職員・高校生・大学生を除く。
中堅……教職員の者、年齢に制限なし。
3将……警察職員の者、年齢に制限なし。
副将……年齢35歳以上の者、警察職員・教職員を除く。
大将……50歳以上、剣道教士七段以上の者。

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

北海道

監督 栄花直輝

先	田口龍生	3	17		全国高校選抜大会	東海大学付属札幌高校2年
次	島地龍	3	21		全日本学生オープン大会男子3段の部優勝	中央大学3年
5	柴田将吾	錬6	34	東海大	全日本都道府県対抗、全国矯正武道選手権大会	札幌刑務所
中	栄花将輝	5	25	筑波大	国民体育大会、全日本都道府県対抗	大学職員
3	高橋慶次	5	27	東北学院大		北海道警察機動隊
副	渋谷侑己	錬6	36	東海大	国民体育大会、全日本都道府県対抗	札幌刑務所
大	炭屋尚宏	教8	53	東海大	全日本選手権、全日本都道府県対抗、国民体育大会、全日本東西対抗	北海道警察警察職員

青森

監督 渡邊大三

先	成田龍飛	2	16		全国高校剣道大会	五所川原第一高校2学年
次	森田緯	4	22			仙台大学4年
5	岩淵力	4	22	明治大	全国高等学校剣道大会、全国高等学校剣道選抜大会、全日本学生優勝大会ベスト8、全日本都道府県対抗剣道大会、国民体育大会	会社員
中	立花香瑛	5	25	芦屋大	全国高等学校剣道大会団体、全日本学生優勝大会	五戸町立五戸中学校
3	相馬健志	5	30	清和大	全日本剣道選手権大会、国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道大会、全国警察大会	青森県警察本部機動隊
副	石田圭太	5	38	東京歯科大	全国高等学校剣道大会、国民体育大会	ダイヤ歯科クリニック
大	井田貴哉	教7	51	中央大	全日本剣道選手権大会、国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道大会、全日本東西対抗剣道大会、全国矯正職員武道大会施設対抗試合、全国矯正職員武道大会選手権試合	青森刑務所

秋田

監督 鎌田耕平

先	三浦歩	2	16		全国中学校大会、全日本都道府県対抗、全国高校総体	秋田商業高校2年
次	東海林健太	3	20		国民スポーツ大会、全日本都道府県対抗	中央大学3年
5	保坂亮輔	6	32	中央大	全国高校総体、全国高校選抜、全日本都道府県対抗	AKT秋田テレビ
中	伊藤智博	錬6	34	日本体育大	全日本選手権、国民スポーツ大会、全日本都道府県対抗、全国警察、全国警察選手権	4月から高校講師予定
3	小野賢也	5	29	秋田商業高校	全日本都道府県対抗、国民スポーツ大会、全国警察、全国警察選手権	機動隊
副	金澤英明	錬7	41	専修大	全日本都道府県対抗	由利本荘市消防本部
大	高橋伸友	教7	50	順天堂大	全日本選手権、全日本東西対抗、国民スポーツ大会、全日本都道府県対抗、全国教職員	秋田商業高校

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

山形

監督 中原正史

先	西堀颯人	3	17		全国高等学校剣道選抜大会、全国高等学校剣道大会	県立酒田光陵高校2年
次	佐藤利輝	3	19		全国高等学校剣道大会団体1位	中央大学2年
5	志賀飛翔	5	28	東北学院大	全国高校剣道大会、全日本学生剣道優勝大会、全日本学生剣道選手権大会	山形刑務所
中	布施秀次	5	25	日本体育大	全国教職員大会	惺山高枝
3	日向裕也	6	31	流通経済大	全日本剣道選手権大会、国民スポーツ大会	山形県警察本部
副	堀大河	錬7	40	日本体育大	都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ大会	山形刑務所
大	土田悟	教7	54	山形大	国民スポーツ大会、都道府県対抗剣道優勝大会、全国教職員大会	余目中学校

岩手

監督 菊池長悦

先	鈴木琥太郎	2	16		全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会、全国道場少年剣道選手権大会	南昌みらい高校2年
次	青木志光	3	21		全国高校総合体育大会剣道大会ベスト8、全日本都道府県大会剣道優勝大会	国士舘大学4年
5	水澤玲弥	5	26	神奈川県立弥栄高校	全日本都道府県対抗剣道大会	(株)ミツボシ
中	菅野隆介	錬6	33	国士舘大	全国高校総合体育大会個人優勝、国民体育大会成年優勝、全日本学生剣道選手権大会、都道府県対抗、全日本剣道選手権大会、全国教職員大会個人3位	福岡高校
3	黒澤剛	5	27	東北学院大	全国警察剣道大会、全国警察剣道選手権大会	岩手県警察機動隊
副	岩崎龍一郎	6	36	国士舘大	国体、全日本選手権大会、全日本都道府県対抗剣道大会	(株)丹野組
大	佐々木大介	教7	51	東海大	国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	東鉄工業(株)東北支店

宮城

監督 鈴木和幸

先	木村楓	3	17		全国道場少年剣道選手権大会	仙台育英学園高校3年
次	久保冬晟	3	20		全日本学生剣道優勝大会優勝、全日本学生剣道選手権大会第5位	国士舘大学3年
5	鈴木健太	5	29	東北学院大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会	宮城刑務所
中	武田直大	6	34	国士舘大	全日本選手権大会5回、全国教職員剣道大会個人準優勝	石巻北高校
3	納谷圭吾	5	30	東北学院大	全国警察大会	宮城県警察
副	菅原清輔	教7	44	国士舘大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ大会	宮城刑務所
大	三浦昇	教7	50	仙台大	全国教職員剣道大会、国民スポーツ大会	船岡中学校

福島

監督 増井将次

先	菅井大志	3	17		全国高校剣道選抜大会	福島県立福島高校3年
次	菅野透馬	3	21		第30回全国高校剣道選抜大会優勝、全国高校剣道大会(個人)、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	筑波大学4年
5	小檜山琢仁	4	23	慶応義塾大	国民スポーツ大会、全日本学生剣道選手権大会	丸紅(株)
中	矢吹秀司	6	35	福島大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国教職員剣道大会、全日本学生大会	福島高校
3	鳥羽雄馬	5	28	仙台大	国民スポーツ大会、全国警察剣道大会、全国警察剣道選手権大会	福島県警察機動隊
副	竹田勝成	錬6	35	日本体育大	国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国矯正職員武道大会	福島刑務所
大	根本誠司	教7	52	福島県立若松商業高校	国民スポーツ大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国警察剣道大会	福島県警察

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

茨城

監督 大久保 隆

先	佐藤 生真	2	17		全国高校剣道選抜大会ベスト16、全国高校剣道大会ベスト16	土浦日本大学高校
次	飯島 圭祐	3	18		インターハイ(団体・個人)、全国選抜、国民スポーツ大会5位	日本体育大学1年
5	竹田 壮汰	6	32	筑波大学大学院	全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国体	自営業
中	松崎 賢士郎	5	26	筑波大学大学院	全日本選手権(優勝1、2位1、3位1)、世界大会団体優勝・個人第2位	筑波大学教員
3	齊藤 奨	5	29	日本体育大	全日本学生剣道選手権大会ベスト32、全日本学生剣道優勝大会ベスト16、全国警察剣道大会1部準優勝	茨城県警察
副	矢口 二三也	教7	44	流通経済大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会優勝1回2位2回、全国矯正職員剣道大会団体優勝2回、個人優勝1回、全日本剣道選手権、全日本官公庁剣道大会団体優勝2回・個人優勝1回	東京拘置所
大	直井 勝彦	教7	50	流通経済大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会第3位、全国警察剣道大会	茨城県警察

栃木

監督 佐藤 哲通

先	勝 祐太	3	17		全国道場少年剣道選手権大会男子個人第3位	栃木県立宇都宮高校2年
次	中丸 真大	3	21		全日本学生剣道選手権大会	順天堂大学4年
5	松井 真之介	5	27	筑波大	全日本学生剣道優勝大会2位、3位	小山市役所
中	高橋 伸也	6	36	早稲田大	全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会ベスト8	栃木県立宇都宮高等学校
3	市川 巧	6	31	明治大	国民体育大会優勝	栃木県警察
副	荒牧 旭	錬6	36	東陵高校	国民体育大会、全国矯正職員武道大会	喜連川社会復帰促進センター
大	藤原 真児	教8	51	東海大	全日本剣道選手権大会、国民体育大会(優勝1回、5位2回)、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国警察大会、選手権大会	栃木県警察

群馬

監督 石原 一幸

先	宮口 煌生	3	18		全国道場対抗剣道大会、全国道場少年剣道選手権大会	前橋育英高校3年
次	鈴木 智大	4	21		国体、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本学生選手権	東海大学4年
5	小林 将大	4	25	駒澤大	全日本実業団剣道大会、全国道場対抗剣道大会	富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)
中	北野 寛平	6	36	筑波大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国教職員大会個人3位	東京農業大学第二高校
3	星野 秀明	5	25	大阪体育大	全日本選手権大会、国体、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国警察剣道大会	群馬県警察
副	川島 正人	錬7	47	創価大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会	ミナミ電工(株)
大	設楽 圭佐	教7	58	中京大	国体、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、インターハイ	(株)巴企画

埼玉

監督 田中 宏明

先	酒井 新太	2	16		全国中学校剣道大会、全国高校選抜剣道大会	本庄第一高校2年
次	相川 琥鉄	3	19		国民体育大会、全国高等学校剣道大会	日本体育大学2年
5	山崎 健多	5	27	東京学芸大	全日本学生剣道優勝大会	富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)
中	貝塚 脩悟	5	25	日本体育大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ(体育)大会、全国教職員大会	城北埼玉中学高校
3	伊藤 勇太	4	26	法政大	全日本剣道選手権大会、全国警察剣道大会	埼玉県警察
副	竹越 充	7	37	早稲田大	全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会、全日本東西対抗剣道大会	NTTコミュニケーションズ(株)
大	菊地 博之	教8	55	栃木県立小山南高校	全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ(体育)大会、全日本東西対抗剣道大会	埼玉県警察学校

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

東京

監督 横内良道

先	長谷川 秀吾	3	17			足立学園高校2年
次	浦井 進太郎	3	20			専修大2年
5	佐藤 大洋	5	29	中央大	第64回全日本実業団剣道大会優勝	三井住友海上火災保険(株)
中	村富 聖気	6	31	国士舘大	第64回全国教職員剣道大会優勝	国士舘大学職員
3	宮本 敬太	5	30	国士舘大	世界大会団体優勝、全日本選手権大会三位、全国警察大会優勝、全国警察選手大会三位、全日本都道府県対抗大会優勝	警視庁第三機動隊
副	岩川 力	6	35	早稲田大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会優勝、全日本実業団剣道大会優勝	富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)
大	原田 悟	教8	51	筑波大		警視庁警務部教養課

千葉

監督 染谷恒治

先	松本 熙心	3	17		全国中学校剣道大会、全国高等学校剣道選抜大会、全国高等学校総合体育大会	東海大学付属浦安高校3年
次	山野 慎治	4	21		全国高校大会、都道府県対抗優勝大会、全日本学生優勝大会	中央大学4年
5	本間 渉	5	27	中央大	全日本実業団優勝、全日本選手権	住友海上
中	白鳥 湧也	5	27	筑波大	全日本選手権	千葉県立君津高校
3	岡光 健太郎	6	33	市立船橋高校	全国警察大会団体個人3位、国民スポーツ大会優勝、全日本選手権、全国都道府県大会	警察官
副	鈴木 悠平	6	37	法政大	全日本都道府県大会優勝	住友海上
大	鈴木 剛	教8	53	法政大	全日本選手権大会優勝、全日本都道府県大会3位、国体2位、全日本選抜七段選手権大会準優勝	千葉県警察

神奈川

監督 佐藤正二

先	坂倉 匠	3	17			桐光学園高校3年
次	森川 天斗	3	21		全国高等学校総合体育大会個人・団体、国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本学生剣道優勝大会、全日本学生剣道選手権大会	東海大学4年
5	深野 孝樹	3	22	慶応義塾大	全日本学生剣道優勝大会ベスト8	三菱商事(株)
中	森山 竜成	5	26	筑波大	全日本剣道選手権大会、国民スポーツ大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	桐蔭学園高校
3	真田 裕行	5	30	鹿屋体育大	全国警察剣道選手権大会三位、全日本剣道選手権大会5回ベスト8	神奈川県警察
副	高見 優	錬7	37	東海大	全日本剣道選手権大会(ベスト8、ベスト16)、国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国警察剣道大会	脱毛サロンEvolve横浜
大	北条 将臣	教8	51	日本体育大	世界剣道選手権大会個人優勝、全日本剣道選手権大会三位、全国警察剣道大会優勝、国民体育大会優勝、全日本東西対抗剣道大会	神奈川県警察

山梨

監督 依田安史

先	柏崎 粹威	2	17		全国高校選抜大会	日本航空高校3年
次	大澤 柁也	3	21		全日本都道府県大会、全日本学生剣道大会ベスト8、国民スポーツ大会	順天堂大学4年
5	永沼 隼一	5	30	中央学院大		甲府刑務所
中	依田 光史	4	24	国士舘大	全日本都道府県大会	甲府商業高校
3	光石 理人	5	27	国士舘大	全日本選手権大会、全国警察大会、全国警察選手権大会	山梨県警察本部
副	飯野 有紀	錬7	37	国士舘大	全日本都道府県大会、国民スポーツ大会	甲府刑務所
大	坂本 浩一	教7	51	国士舘大	全日本東西対抗大会、全日本都道府県大会、国民スポーツ大会	甲府刑務所

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

新潟

監督 二平正司

先	金澤心	2	17		全国高等学校総合体育大会、全国高等学校剣道大会	新潟商業高校2年
次	田畑政樹	3	21		国民体育大会、全日本学生剣道優勝大会	法政大学2年
5	岩倉仙太郎	4	29	国際武道大		刑務官
中	坂爪優太	6	30	国士舘大	全日本剣道選手権大会	帝京長岡高校
3	斎藤拓哉	5	30	東京農業大	全日本剣道選手権大会、国民体育大会	警察官
副	木村友哉	錬7	37	日本体育大	全日本選手権大会	刑務官
大	石井輝彦	教7	50	中京大	全国教職員大会	新潟中央高校

石川

監督 倉久廣

先	藤井啓士朗	3	18		全国高校選抜剣道大会、国スポ大会	金沢桜丘高校3年
次	吉村匠登	3	20		全国高校選抜剣道大会、高校総体	國學院大学2年
5	下池真平	3	27	東海大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、高校総体	金沢学院高校講師
中	青木心磨	4	25	法政大		日本航空高校石川
3	高見将吾	5	26	金沢市立工業高校	全国警察剣道大会	県警機動隊
副	澤田浩基	5	35	中部大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、高校総体	(有)澤田電興社
大	藤井勝司	教8	52	東北大	国スポ大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	小松市役所

富山

監督 滝下弘之

先	佐藤太陽	2	16		全国中学校剣道大会、全国高校総体剣道大会	富山北部高校2年
次	杉本駿太	3	19		全国高等学校剣道大会、全国高等学校剣道選抜大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国体	国士舘大学2年
5	青山虹	5	29	龍谷富山高校	全日本都道府県対抗剣道優勝大会	富山刑務所
中	寺島光紀	教7	42	筑波大	全日本選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国体、全国教職員剣道大会	富山北部高校
3	中川裕太	5	28	国士舘大	全国高等学校剣道大会、全国高等学校剣道選抜大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	警察官(機動隊)
副	小木輔	5	35	国士舘大	全日本剣道選手権大会、国体、全日本都道府県対抗優勝大会	(株)Jリスクマネージメント
大	重富洋一	教8	52	高岡工芸高校	全日本剣道選手権大会、全日本東西対抗剣道大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会	警察官(県警本部)

福井

監督 堀江範雄

先	山口範登	3	17		インターハイ、選抜大会	丸岡高校3年
次	奥村龍也	3	21		全日本都道府県大会、全日本学生選手権	大阪体育大学4年
5	中村翔太郎	3	22	明治大	全日本学生大会、国民体育大会、国民スポーツ大会	ナカムラ設備
中	渡邊龍二郎	6	33	国士舘大	全国教職員大会	福井工業大学
3	内田大樹	4	24	大阪体育大	国民体育大会	福井県警察機動隊
副	中村好伸	錬7	39	中京大	国民体育大会、都道府県大会、国民スポーツ大会	福井刑務所刑務官
大	小辻淳二	教8	58	金沢大	国民体育大会三位、全国教職員大会、都道府県対抗大会、全日本東西対抗大会	三方中学校

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

長野

監督 榛葉 亨

先	村上 宥 皇	3	17		全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国高等学校剣道大会、全国高等学校剣道選抜大会	佐久長聖高校 3年
次	大宇根 溪 平	3	22		全国高等学校剣道大会	順天堂大学 4年
5	今井 郁 也	4	23	日本大	全国高等学校剣道選抜大会	TOPPANインフォメディア(株)
中	矢野 博 之	6	30	国士舘大	全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会、全国教職員剣道大会	長野日本大学中学・高校
3	西澤 慎 也	5	28	長野商業高校	全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会、全国警察剣道大会、全国警察剣道選手権大会	長野県警察本部機動隊
副	熊谷 伸 昭	教7	45	下伊那農業高校	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会	せつび屋のぶ(自営業)
大	廣前 治 泰	教7	50	金沢工業大学大学院		エプソンアヴァシス(株)

静岡

監督 杉森 義昭

先	藤雄 龍 来	2	17		全国高等学校選抜剣道大会	磐田東高校 3年
次	柴田 琉 成	3	21		全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国体、全日本学生剣道優勝大会	日本体育大学 4年
5	赤星 飛 翔	4	26	国際武道大	全国矯正職員剣道大会個人3位団体3位、全日本学生剣道優勝大会3位	静岡刑務所
中	設楽 海 斗	4	26	法政大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国教職員大会3位、全日本学生剣道優勝大会	東海大学静岡翔洋高校
3	菊池 元 貴	5	27	横浜商科大	全国警察剣道大会、国体	静岡県警察
副	二槁 光 哉	錬7	39	中京大	全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国体少年の部優勝、全日本学生剣道優勝大会、全日本学生剣道選手権大会2回	会社員(株)ミダック
大	松井 修 司	教7	51	中京大	全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国体、全日本東西対抗剣道大会	(株)プロスパイラマニューファクチャリング

愛知

監督 倉成 健治

先	牧 瑞 貴	2	17		全国高等学校剣道選抜大会	名古屋高校 3年
次	加藤 奨 貴	3	21		全国高等学校総合体育大会、全国高等学校剣道選抜大会	中京大学 4年
5	村田 雅 俊	5	28	国士舘大	全日本実業団剣道大会、全日本学生剣道選手権大会	JR東海
中	野島 大 資	4	29	中部大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本学生剣道優勝大会	清林館高校
3	山田 慎	5	26	国士舘大	全国警察剣道大会	愛知県警察機動隊
副	新美 敬 介	錬6	36	愛知学院大	全国矯正職員武道大会、全日本学生剣道優勝大会	名古屋刑務所
大	外山 浩 規	教8	51	日本体育大	全日本剣道選手権大会、都道府県対抗、国体、東西対抗大会、全国警察大会	愛知県警察本部

岐阜

監督 杉田 龍彦

先	立山 智 也	2	17		全国高等学校剣道選抜大会	済美高校 3年
次	石原 共 晟	3	21		全日本学生剣道大会個人・団体、全日本学生東西対抗	中部学院大学 4年
5	高井田 倅 大	4	28	名古屋経済大	全日本学生剣道大会	刑務官
中	坂本 太 一	錬6	38	日本体育大	全日本学生剣道選手権大会、全日本都道府県大会、全国教職員大会	中部学院大学
3	大野 祐 史	5	29	関西大	国民スポーツ大会、全日本都道府県大会	警察官
副	村上 拓	5	43	金沢市立工業高校	全国高等学校剣道大会団体	(株)西都電機商会
大	松尾 一 伸	教7	55	九州産業大	本大会	刑務官

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

三重

監督 中 納 淳

先	杉原 琉仁	2	17		国民スポーツ大会、全国高校総体団体、全国高校選抜大会団体	三重高校2年
次	中西 健吾	4	21		全日本学生優勝大会3位	中央大学4年
5	小川 紘夢	5	27	国士館大	全国高校総体個人・団体	刑務官
中	吉川 航輝	4	26	国際武道大	全日本学生優勝大会3位、全国教職員大会個人3位	中学校教員
3	熊澤 誠人	4	24	近畿大	全日本学生優勝大会3位・ベスト8、全国高校総体団体ベスト8、国民スポーツ大会	警察官
副	太田 宗佑	錬6	35	中央大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会	刑務官
大	河合 貞志	教8	53	筑波大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ大会、全国教職員大会	川越高校

滋賀

監督 安 田 勉

先	高田 悠生	3	17		全国高校総合体育大会	比叡山高校3年
次	寺前 俊佑	3	21		全日本学生優勝大会団体	関西大学4年
5	竹本 航洋	4	23	立命館大	国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	東レ(株)
中	八木 聖真	5	26	国士館大	全日本剣道選手権大会、国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	比叡山中学校
3	杉野 翔耶	5	29	PL学園高校	国民体育大会、全日本学生優勝大会	滋賀県警察
副	堀 正人	錬6	35	八幡工業高校	国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	東レ(株)
大	高田 秀晃	教8	50	PL学園高校	全日本剣道選手権大会出、全日本東西対抗大会、国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	滋賀県警察

京都

監督 西 川 忠 男

先	谷 楓 汰	3	17		都道府県対抗優勝大会、全国高校大会、全国高校選抜大会	龍谷大学附属平安高校3年
次	豊嶋 恢伸	3	19		都道府県対抗優勝大会、全国高校大会、全国高校選抜大会、全日本学生優勝大会	近畿大学2年
5	山中 勇人	6	32	大阪体育大	都道府県対抗優勝大会、全国矯正職員大会個人優勝	京都刑務所
中	橋本 将輝	5	26	筑波大学大学院	全日本選手権大会、全国教職員大会個人優勝、全日本学生優勝大会2位	京都市立日吉ヶ丘高校
3	合屋 龍	錬6	33	鹿屋体育大	全日本選手権大会2位、東西対抗大会、都道府県対抗優勝大会、全国警察大会個人3位、国体3位	京都府警察
副	久保 翔太	錬7	37	佛教大	都道府県対抗優勝大会3位、全国矯正職員大会団体2位・3位	京都刑務所
大	藤原 広臨	教8	53	京都大学大学院(医学)	全日本医科大学大会団体優勝、全国道場対抗大会	京都大学大学院医学研究科(精神医学)

大阪

監督 愛 甲 和 彦

先	松下 晴之進	2	17		全国高校選抜大会	清明学院高校3年
次	中尾 王真	3	20		玉竜旗大会優勝、高校総体個人・団体、全日本学生優勝大会	法政大学3年
5	山崎 将治	4	25	中央大	全日本学生優勝大会優勝2回、全日本学生選手権大会3位、全日本都道府県対抗大会優勝	会社員(パナソニック)
中	松本 大佑	5	30	兵庫県立大学大学院	全国教職員大会団体の部優勝、全日本都道府県対抗大会3位	桃山学院大学
3	草野 龍二郎	5	29	鹿屋体育大	世界大会団体優勝、全日本選手権、都道府県対抗大会優勝、国体、警察官大会(団体優勝・個人)	警察官
副	勝見 健太	教7	41	同志社大	全日本都道府県対抗大会3位、全日本実業団大会優勝	パナソニック
大	佐野 隆紀	教8	53	国士館大	全国警察剣道大会、国民体育大会	警察職員

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

奈良

監督 伊東康裕

先	塩野真人	3	17		国民スポーツ大会、全国高等剣道大会 ベスト16	奈良大学附属高校3年
次	西浦尚希	3	20		全日本都道府県対抗優勝大会	法政大学3年
5	山田侑希	錬6	32	関西大	全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗優勝大会、国民スポーツ大会、全日本実業団剣道大会優勝	パナソニック(株)
中	森洸太	5	27	日本体育大	全日本都道府県対抗優勝大会	奈良商工高校
3	前田頌悟	5	29	日本大	全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗優勝大会、国民スポーツ大会、全国警察剣道選手権大会個人・団体	奈良県警察
副	豊田大	錬7	38	明治大	全日本都道府県対抗優勝大会、国民スポーツ大会	北斗武道具店
大	山口匡知	教7	54	国士舘大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会	丸誠武道具店

和歌山

監督 奥地慎

先	吉賀崇伴	3	17			和歌山東高校3年
次	佐々木健太	3	21		全日本都道府県対抗剣道優勝大会優勝、全日本学生剣道選手権大会	大阪体育大学4年
5	小幡侑矢	5	24	和歌山大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本学生剣道選手権大会、全日本学生剣道東西対抗試合、国民体育大会	JPロジスティクス
中	太田浩規	6	35	大阪教育大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会ベスト8、全国教職員大会団体優勝・個人ベスト8	桐蔭高校
3	笠原周	錬6	36	近畿大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会優勝、国民体育大会優勝、全国警察剣道大会第二部優勝・第3位	和歌山県警察
副	吉田真佐義	錬7	39	鹿屋体育大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会優勝、全日本剣道選手権大会、国民体育大会	JPロジスティクス
大	杉山公敏	教7	50	中京大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本剣道選手権大会、国民体育大会優勝、国民スポーツ大会、東西対抗剣道大会	和歌山県警察

兵庫

監督 田島基秀

先	倉本凌輔	3	17		全国高校選抜大会	育英高等学校3年
次	和田壯太	3	21		全日本学生大会	明治大学4年
5	山内三士郎	6	34	日本体育大	全日本実業団選手権大会、全日本学生大会	NX商事(株)
中	栗山大輝	4	27	兵庫県立大	全国教職員大会、都道府県対抗剣道優勝大会	播磨東中学校
3	長納辰気	6	31	国士舘大	全国警察大会	警察官
副	山本浩文	6	38	大阪体育大	全日本学生剣道選手権大会、都道府県対抗剣道優勝大会	刑務官
大	佐藤誠	教8	57	高千穂高校	全日本選手権大会、八段選抜大会	警察官

岡山

監督 馬場健治

先	菅野心平	3	17		全国高等学校選抜大会、全国高等学校総合体育大会	岡山県立玉島高校3年
次	守安泰輝	3	19		全国高等学校選抜大会優勝、全国高等学校総合体育大会個人優勝	中央大学2年
5	池上真太郎	4	24	大阪体育大	全国都道府県対抗剣道優勝大会、全国青年剣道大会団体・個人優勝	非常勤講師
中	高橋怜央	5	27	帝京大	全国都道府県対抗剣道優勝大会	環太平洋大学
3	鴨井龍希	5	26	京都産業大	国民体育大会、国民スポーツ大会、全国警察剣道大会	岡山県警察
副	福森智之	錬7	38	大阪体育大	国民体育大会、矯正全国大会、全国都道府県対抗剣道優勝大会	岡山刑務所刑務官
大	鈴木裕之	教8	52	大阪体育大	全国都道府県対抗剣道優勝大会優勝、東西対抗剣道大会、全日本剣道選手権大会、国民体育大会優勝、全国警察剣道大会	岡山県警察官

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

広島

監督 杉山 彰

先	山中 一 颯	3	17		第71回全国高等学校総合体育大会団体	広島皆実高等学校 2年
次	福岡 勇 馬	3	20		全国高校総合体育大会優勝、全国高校剣道選抜大会準優勝、全日本都道府県対抗剣道優勝大会3位、全日本学生剣道優勝大会3位	中央大学 2年
5	岡本 達 弥	4	23	近畿 大	全日本学生剣道優勝大会団体 3位	広島刑務所
中	古谷 祐 貴	5	26	中央 大	全日本学生剣道選手権大会個人ベスト32、全国教職員剣道大会	広島桜が丘高校
3	棗田 龍 介	4	24	日本体育大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本選手権大会優勝、国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会3将3位、全日本選手権大会3位	広島県警察
副	矢野 孔 明	6	37	清和 大	国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国矯正職員施設対抗試合団体優勝、国民体育大会、全国都道府県大会3位	広島拘置所
大	木佐 大 智	教7	51	同志社 大	国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会 2位	会社員

山口

監督 尾崎 満

先	竹川 竜	2	17		全国高等学校総合体育大会剣道大会、全国高等学校選抜大会	西京高校 3年
次	高島 壮右馬	4	20		全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ大会	筑波大学 3年
5	田村 亮 貴	4	24	環太平洋大		山口刑務所
中	沖本 淳 樹	5	30	日本体育大	全日本剣道選手権大会	大島中学校
3	渡邊 優 馬	4	23	山口県鴻城高校	全国警察剣道大会	警備部機動隊
副	加藤 一 寿	5	36	徳山 大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会	山口刑務所
大	谷岡 薫	教7	50	徳山 大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ大会	カワノ工業(株)

鳥取

監督 山本 勝

先	松原 壮 真	3	17		全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会、全国高等学校剣道大会個人・団体、全国高等学校剣道選抜大会	米子松蔭高校 3年
次	板見 奏 人	4	20		全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国高等学校剣道選抜大会	東海大学 3年
5	加藤 竜 成	4	24	広島 大	全国高等学校剣道大会個人準優勝、全国教育系大学学生大会団体準優勝、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本剣道選手権大会	パナソニックハウジングソリューションズ(株)
中	板見 慧 人	4	23	大阪体育大	全国高等学校剣道大会個人、全国教職員剣道大会	倉吉農業高校講師
3	佐々木 健 介	5	28	国士舘 大	全日本剣道選手権大会、国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国警察大会	鳥取県警察機動隊
副	乗本 志 考	5	42	鳥取 大	全日本剣道選手権大会(敢闘賞受賞)、国民体育大会	鳥取県立中央病院医師
大	石上 豊 明	教8	54	国士舘 大	国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国教職員剣道大会	倉吉農業高校

島根

監督 深石 裕 樹

先	斎藤 誉 螺	2	17			益田東高校 3年
次	山根 平	3	20		全日本都道府県対抗剣道優勝大会	中央大学 3年
5	加藤 大 征	4	23	筑波 大	全日本剣道選手権大会、国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	筑波大学大学院
中	竹田 圭 汰	5	30	日本体育大	国民スポーツ大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国教職員剣道大会	青陵中学校
3	平井 勇 気	6	31	順天堂 大	全日本剣道選手権大会、国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国警察剣道大会、全国警察剣道選手権大会	島根県警察機動隊
副	高木 洸	錬6	40	徳山 大	国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	松江刑務所
大	森脇 誠	教7	50	徳山 大	国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	松江刑務所

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

香川

監督 香西新五

先	野中流空	3	17		全国高校大会、国民スポーツ大会、都道府県対抗優勝大会	星槎国際高校3年
次	日裏勘太	4	21		全国高校大会、全日本学生剣道選手権大会、都道府県対抗優勝大会	国際武道大学4年
5	福田純也	4	24	英明高校		高松刑務所
中	寒川祥	5	25	筑波大学大学院	全日本選手権大会、全国教職員大会、都道府県対抗優勝大会、国体、全日本学生大会、全日本学生選手権大会、全国高校大会、全国高校選抜大会	大手前高松中学・高校
3	内堀聡一郎	5	28	高松商業高校	全日本選手権大会、都道府県対抗優勝大会、国体	香川県警察
副	小川直希	教7	42	流通経済大	都道府県対抗優勝大会	自衛官
大	井口雅博	教7	53	中京大	都道府県対抗優勝大会、全日本学生選手権大会	高松刑務所

愛媛

監督 菅幹博

先	片上倭之介	3	17		全国中学校剣道大会個人第3位	新田高校3年
次	富田悠仁	3	20		全国高等学校剣道選抜大会第3位、全国高等学校総合体育大会剣道競技、全日本学生剣道選手権大会	松山大学3年
5	片山峻輔	4	24	国士舘大	全日本学生剣道優勝大会準優勝、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会	松山刑務所
中	菅太樹	錬6	35	国士舘大	全国教職員剣道大会義務教育の部準優勝、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	川東中学校
3	藤井颯	5	24	東亜大	全日本学生剣道選手権大会、国民体育大会	愛媛県警察
副	國松建作	錬6	37	済美高校	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国矯正職員剣道大会	松山刑務所
大	高宮 肅	教7	52	松山商業高校	全日本剣道選手権大会、全日本東西対抗剣道大会、全国警察剣道大会	愛媛県警察

高知

監督 大崎正澄

先	白田琥太郎	3	17		全国高等学校剣道選抜大会、全国高等学校剣道選手権大会ベスト8	高知高校3年
次	弘田陸人	3	21		全国高等学校剣道選手権大会、全国高等学校剣道選抜大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	東海大学4年
5	矢野心都	5	24	国士舘大	国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国教職員剣道大会	刑務官
中	柿本竜汰	4	23	鹿屋体育大	国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	江の口特別支援学校
3	中澤公貴	錬6	34	国士舘大	全日本選手権大会、国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本東西対抗剣道大会、全国警察剣道大会、全国警察剣道選手権大会	警察官
副	三原大和	錬6	39	尽誠学園高校		自衛官
大	井口博基	教7	52	東亜大	国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	郵便局員

徳島

監督 福多雅英

先	平松政樹	3	17		全国高等学校剣道選抜大会、全国中学校剣道大会団体、全国都道府県対抗少年剣道優勝大会	城北高校3年
次	前田優真	3	18			国士舘大学1年
5	弘田悠人	3	24	東海大	全国中学校剣道大会団体、全国高校総体団体	刑務官
中	白木恒二郎	6	32	国士舘大	全日本選手権大会ベスト8、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会第5位、全日本学生大会団体準優勝・個人	教員
3	山本義征	錬6	36	大阪体育大	全日本選手権大会、国民スポーツ大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国警察大会団体・個人	警察官
副	玉井翔	5	35	松山商業高校	全日本都道府県対抗剣道優勝大会	刑務官
大	山室雅幹	教7	51	国際武道大	全日本選手権大会、東西対抗、国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国警察大会	警察職員

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
福岡						
監督 原 忠 生						
先	森 大 颯	3	17		国民スポーツ大会 2 位	福岡大学附属大濠高校 3 年
次	田 城 智 也	4	21		全日本学生剣道選手権大会 3 位	筑波大学 4 年
5	窪 俊 充	錬 6	32	福岡 大	全国矯正職員武道大会剣道選手権大会優勝、全国矯正職員武道大会施設対抗大会優勝、全国官公庁剣道大会団体優勝、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	福岡拘置所
中	佐 藤 祐 太	5	27	筑波 大	全日本学生剣道優勝大会団体準優勝、全日本学生剣道選手権大会ベスト 8	太宰府高校
3	池 田 虎ノ介	4	23	筑波 大	全日本剣道選手権大会 3 位、全日本都道府県対抗剣道優勝大会準優勝、国民スポーツ大会	警察官
副	西 村 龍太郎	錬 6	35	早稲田 大	全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会準優勝、全日本学生剣道大会団体優勝、全日本実業団剣道大会優勝	会社員
大	大 淵 量	教 8	52	筑波 大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会優勝、国民スポーツ大会、全国教職員剣道大会個人優勝	久留米商業高校
佐賀						
監督 白 石 務						
先	白 川 怜 尚	3	17		全国高等学校総合体育大会	敬徳高校 3 年
次	北 原 隆 磨	3	19		全日本学生剣道選手権大会団体 3 位	中央大学 2 年
5	井 上 雅 治	3	19	八女学院高校		刑務官
中	中 橋 龍之介	4	26	清 和 大	全国教職員剣道大会	敬徳高校
3	川 頭 泰 輔	4	24	大阪体育大	全日本選手権大会	機動隊
副	江 島 隆 博	錬 6	37	福岡 大	全日本学生剣道選手権大会	刑務官
大	原 剛	教 7	51	鹿屋体育大	全日本選手権大会、国民体育大会、全 国都道府県大会	警察職員
長崎						
監督 中 元 史 郎						
先	田 才 温 人	3	18		全国高等学校選抜剣道大会	長崎南山高校 3 年
次	水 口 快	3	19		全日本学生剣道優勝大会第 3 位	中央大学 2 年
5	白 石 琢 磨	4	23	中 央 大	全国高等学校選抜剣道大会	富士フィルムBI
中	宮 崎 東 平	錬 6	37	筑波 大	全国教職員大会団体優勝、個人準優勝、全 日本選手権大会、全日本都道府県第 3 位	瓊浦高等学校
3	前 田 聖 直	5	24	鹿屋体育大	全日本選手権、全国警察大会団体 2 部 第 3 位、国体	長崎県警察
副	宮 崎 嵩 文	錬 6	38	日 本 大	全国警察大会一部第 3 位	(有)清福社事業
大	島 田 貴 文	教 8	53	中 央 大	全日本選手権大会、全日本東西対抗剣 道大会	長崎県警察
大分						
監督 安 東 夏 行						
先	濱 田 龍 聖	3	17		全国高等学校剣道大会	大分鶴崎高校 3 年
次	正 木 蓮	3	20			明治大学 3 年
5	梶 谷 彪 雅	5	26	明 治 大	全国中学校剣道大会団体優勝、全国高等学校選抜剣道大会優勝、全国高等学校剣道大会優勝、玉竜旗高校剣道大会優勝	彪雅KENDO合同会社
中	園 山 和 槻	5	29	鹿屋体育大	全国高等学校剣道大会、全国教職員剣 道大会	本匠中学校
3	堤 光 誠	4	23	筑波 大	全日本剣道選手権大会、全日本都道府 県対抗剣道優勝大会	大分県警察
副	和佐野 仁 宣	6	37	大阪体育大	全日本学生剣道優勝大会 2 位、全国矯正職員施設対抗剣道大会 2 位二回・3 位一回、 全国矯正職員剣道選手権大会ベスト 8、全国都道府県対抗剣道優勝大会ベスト 8	大分刑務所
大	岸 本 博 司	教 7	55	鹿屋体育大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全 国教職員剣道大会	植田東中学校

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

熊本

監督 平野 亨

先	中村 文次郎	3	17		全国中学校剣道大会個人2位	九州学院高校3年
次	末永 英大	3	21		全国高等学校総合体育大会団体優勝・個人3位、全日本学生剣道優勝大会ベスト8	駒澤大学4年
5	谷口 隆磨	4	23	鹿屋体育大	全日本学生剣道大会団体ベスト8、全国中学校剣道大会団体優勝	熊本刑務所
中	大盛 尚人	4	24	大阪体育大		東町中学校教員
3	齊藤 教世	4	26	駒澤大	全日本剣道選手権大会、国民体育大会	熊本県警察
副	佐藤 史和	錬6	41	志学館大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会	熊本刑務所
大	中嶋 貴憲	教7	50	大東文化大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会	熊本刑務所

宮崎

監督 甲斐 修二

先	原田 恵杜	2	18		全国高校大会	日章学園高校3年
次	安田 祐也	4	21		全日本学生剣道優勝大会、全日本学生剣道選手権	鹿屋体育大学3年
5	福元 宏清	4	29	東海大	全日本都道府県対抗優勝大会	宮崎刑務所
中	石本 大来	4	25	大阪体育大	全日本都道府県対抗優勝大会、全国教職員剣道大会	高千穂高校
3	久保 紀暁	6	31	福岡大	全日本剣道選手権大会、国スポ大会、全日本都道府県対抗優勝大会	宮崎県警察
副	松本 健志	錬6	40	鹿屋体育大	全日本都道府県対抗優勝大会	宮崎刑務所
大	谷口 信一郎	教7	51	国際武道大	国スポ大会、全日本都道府県対抗優勝大会	宮崎刑務所

鹿児島

監督 下橋 和彦

先	西 寿弘	3	17		全国選抜大会、国体優勝	鹿児島商業高校3年
次	長崎 祥太郎	4	20		全国高校総合体育大会団体優勝	鹿屋体育大学3年
5	山本 将弘	6	31	日本体育大	国体、全日本都道府県大会	鹿児島刑務所
中	岩屋 勇志	4	25	国際武道大	全国教職員大会、全日本学生剣道優勝大会	大口明光学園教諭
3	東 幸太郎	5	27	鹿屋体育大	全国警察剣道大会、全国警察選手権大会、全日本都道府県大会	鹿児島県警機動隊
副	森園 陽任	錬7	39	鹿児島商業高校	国体団体3位、全日本都道府県大会	自営業
大	竹中 健太郎	教8	52	筑波大	世界選手権大会個人2位、国民体育大会優勝、全国教職員大会団体・個人優勝	鹿屋体育大学教授

沖縄

監督 富山 嘉津男

先	金城 良鷹	2	17			嘉手納高校3年
次	仲間 大貴	3	21		全国高校大会	鹿屋体育大学4年
5	大浦 佑太	4	26	大阪体育大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国高校大会	沖縄刑務所
中	久田 友雅	6	31	国士舘大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国教職員大会、国民体育大会	興南中学校教員
3	中島 太朗	5	27	国士舘大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会	沖縄県警察機動隊
副	榮 翔平	5	35	京都産業大	全日本剣道選手権大会、全日本学生選手権大会	沖縄刑務所
大	稲田 宏之	教7	50	東洋大	国民体育大会、全国警察大会、全国警察選手権	沖縄県警察機動隊

本大会の歴史

本大会は、全日本剣道連盟が昭和27年10月に設立されてから実施している全日本剣道選手権大会・全日本東西対抗剣道大会とならぶ、伝統ある最も重要な大会のひとつであります。

第3回大会（昭和30年）まで京都市における剣道祭的な個人試合と併行して実施されていましたが、第4回大会（昭和31年）より独立し、大阪府剣道連盟主管のもとに、大阪府において開催されることになりました。

以後、年齢・職業・段位により制限を設け、学生を除く社会人の各層から選手が出場できる方策を講じることで、より充実した試合を展開してまいりました。

第46回大会（平成10年）より、女性剣道の目覚ましい発展に伴い、この大会も女性剣士抜きでは考えられなくなり、女子2名を加え、1チーム7名編成で開催され、出場者は、男女ともに世界大会出場者や全日本選手権者をはじめとし、各種剣道大会で活躍中の選手男女混成による実質的な各都道府県の総力戦大会として実施してきましたが、平成21年度より従来7月に開催していた「全国家庭婦人剣道大会」を「全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会」として開催し、本大会を男子団体戦として高校生・大学生を含む新たな選手編成で実施することとしました。

これまでの過去の優勝回数は、大阪府15回、東京都12回、福岡県5回、それに熊本県の5回が続きます。

また、第47回大会より優勝チームに対し、春日大社に奉納されている南北朝時代の甲冑（国宝）の兜を複製した優勝兜（持ち回り）が贈呈されることになりました。

過去の記録

回数	期日・場所	成績（優勝チーム、先鋒・次鋒・中堅・副将・大将）
第1回	昭和28年5月4・5日 於・旧大日本武徳会武徳殿	優勝 東京都（中村、山下、森島、角川、佐藤） 第2位 鹿児島県（山口、竹下、坂口、松崎、緒方） 第3位 兵庫県・広島県
第2回	昭和29年5月3・4日 於・旧大日本武徳会武徳殿	優勝 鹿児島県（大久保、重岡、坂口、梅山、中倉） 第2位 福島県（平出、松本、相楽、矢内、青田） 第3位 福岡県・静岡県
第3回	昭和30年5月3～5日 於・旧大日本武徳会武徳殿	優勝 熊本県（緒方、石原、一川、井上、緒方） 第2位 福島県（水木、蒲生、安田、千葉、矢内） 第3位 鹿児島県・大阪府
第4回	昭和31年7月22日 於・大阪府立体育会館	優勝 熊本県（緒方、石原、一川、井上、緒方） 第2位 大阪府（井上、小森園、萩原、山口、六反田） 第3位 栃木県・鹿児島県
第5回	昭和32年6月9日 於・大阪府立体育会館	優勝 岡山県（山根、高田、木本、山形、石原） 第2位 佐賀県（南里、定松、北川、馬場、田島） 第3位 京都府・大阪府
第6回	昭和33年5月3日 於・大阪府立体育会館	優勝 新潟県（渡辺、佐藤、堀田、矢野、占部） 第2位 東京都（榎本、橋本、松元、今井、鶴海） 第3位 兵庫県・大阪府

第7回	昭和34年5月3日 於・大阪府立体育会館	優勝 熊本県(宮崎、石原、坂田、緒方、井上) 第2位 佐賀県(北川、定松、川崎、石橋、田島) 第3位 大阪府・愛知県
第8回	昭和35年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 兵庫県(村山、木山、堀田、蓮井、中尾) 第2位 山口県(野間、吉田、田村、津脇、高嶋) 第3位 大阪府・佐賀県
第9回	昭和36年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(川上、小森園、賀来、中沢、浦本) 第2位 福岡県(古庄、大坪、久保、大浦、谷口) 第3位 佐賀県・山口県
第10回	昭和37年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 福岡県(神、谷口、木下、松原、大浦) 第2位 大阪府(川上、小森園、河田、中沢、浦本) 第3位 埼玉県・新潟県
第11回	昭和38年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 福岡県(神、谷口、木下、松原、大浦) 第2位 大阪府(川上、上辻、小林、千原、浦本) 第3位 富山県・岡山県
第12回	昭和39年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(齊藤、太田、今田、服部、園田) 第2位 山口県(島津、高橋、神徳、津脇、高嶋) 第3位 岡山県・新潟県
第13回	昭和40年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 愛知県(細田、恵土、内藤、鈴木、谷) 第2位 佐賀県(松本、藤本、穂山、北川、定松) 第3位 大阪府・福岡県
第14回	昭和41年5月3日 於・神戸市中央体育館	優勝 兵庫県(白井、河野、安倍、魚谷、堀田) 第2位 大阪府(川上、山本、島野、中沢、関田) 第3位 岡山県・福岡県
第15回	昭和42年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 埼玉県(若松、山中、野沢、市川、蓮井) 第2位 神奈川県(枝、福本、幸野、白石、清水) 第3位 兵庫県・東京都
第16回	昭和43年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 鹿児島県(池田、鶴狩、有満、児嶋、吉村) 第2位 岡山県(久山、藤田、石岡、高田、山根) 第3位 熊本県・神奈川県
第17回	昭和44年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(白藤、山本、浜田、太田、関田) 第2位 神奈川県(久保木優、久保木文、幸野、枝、清水) 第3位 熊本県・滋賀県
第18回	昭和45年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(大川、国分、小川、白藤、小林) 第2位 東京都(渡辺、矢野、千葉、興柁、小沼) 第3位 千葉県・長崎県
第19回	昭和46年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 東京都(岩田、桜木、中村、川瀬、伊保) 第2位 大阪府(川上、国分、島野、太田、小林) 第3位 佐賀県・神奈川県
第20回	昭和47年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 福岡県(浦、白木、樋口、高野、古庄) 第2位 高知県(片岡、川添哲、安岡、橋本、川添恵) 第3位 広島県・愛知県
第21回	昭和48年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(豊村、溝口、小坂、播磨、小林) 第2位 鹿児島県(有村、会田、竹迫、久木山、有満) 第3位 岡山県・香川県
第22回	昭和49年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大分県(二宮、古沢、江口、祐成、葛城) 第2位 滋賀県(重松、白井、脇本、首藤、八木) 第3位 東京都・北海道
第23回	昭和50年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 東京都(高橋、馬場、平、田村、佐藤) 第2位 兵庫県(馬渡、日高、浜田、辻、鈴木) 第3位 大阪府・福岡県

第24回	昭和51年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大分県(二宮、一丸、大戸、祐成、佐藤) 第2位 東京都(熊切、矢野、大野、三浦、西山) 第3位 北海道・佐賀県
第25回	昭和52年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(伊藤、白藤、坂本、一川、川上) 第2位 兵庫県(花田、一丸、二子石、杉山、宮崎) 第3位 神奈川県・佐賀県
第26回	昭和53年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(岩本、権瓶、島野、川上、小林) 第2位 神奈川県(松原、金木、佐藤、戸田、福本) 第3位 宮崎県・福岡県
第27回	昭和54年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 愛知県(祝、合原、大嶽、梅山、北村) 第2位 大阪府(大塚、権瓶、小坂、川上、小林) 第3位 大分県・千葉県
第28回	昭和55年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 鹿児島県(西久保、俣木、末野、山口、有満) 第2位 千葉県(熊切、青木、滝口、中西、斉藤) 第3位 大分県・大阪府
第29回	昭和56年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 鹿児島県(西久保、俣木、末野、小田口、有満) 第2位 宮崎県(興梠、外山、大重、石田、桑原) 第3位 大阪府・大分県
第30回	昭和57年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 埼玉県(田中、中野、加治屋、若杉、野沢) 第2位 大阪府(林、緒方、坂本、蒔田、島野) 第3位 鹿児島県・宮崎県
第31回	昭和58年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 宮崎県(興梠、外山、日高、中西、甲斐) 第2位 大阪府(江川、作道、岩堀、太田、小川) 第3位 東京都・神奈川県
第32回	昭和59年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 宮崎県(興梠、外山、大重、中西、甲斐) 第2位 栃木県(岡本、稲葉、横山、白石、白寄) 第3位 広島県・秋田県
第33回	昭和60年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 宮崎県(興梠、外山、日高、山本、甲斐) 第2位 埼玉県(豆田、中野、加治屋、吉岩、佐々木) 第3位 千葉県・大阪府
第34回	昭和61年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 栃木県(毛塚、佐野、小池、白石、佐藤) 第2位 千葉県(深井、斉藤、石井、中西、忍足) 第3位 大阪府・東京都
第35回	昭和62年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(岡本、神崎、石田、林、島野) 第2位 北海道(林、佐賀、田中、三好、武田) 第3位 茨城県・秋田県
第36回	昭和63年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 東京都(大村、氏家、西川、市川、梯) 第2位 神奈川県(太田、飛知和、宮崎、東出、五味渕) 第3位 滋賀県・熊本県
第37回	平成元年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 熊本県(今村、黒川、桑原、松岡、山田) 第2位 埼玉県(保坂、久保、山田、田中、山中) 第3位 鹿児島県・兵庫県
第38回	平成2年5月3日 於・京都市立体育館	優勝 埼玉県(村石、中野、加治屋、江田、山中) 第2位 大阪府(橋本、吉田、船津、崎山、石田) 第3位 北海道・神奈川県
第39回	平成3年5月3日 於・京都市立体育館	優勝 東京都(梶原、岡村、田島、大村、濱崎) 第2位 岡山県(松本、筒井、藤原、榊原、田中) 第3位 奈良県・福岡県
第40回	平成4年5月3日 於・京都市立体育館	優勝 東京都(谷、右田、田島、水田、遠藤) 第2位 香川県(松下、宮本、旭、白石、伊丹) 第3位 石川県・千葉県

第41回	平成5年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 福岡県(林、金森、清田、井手、石橋) 第2位 東京都(谷、碓氷、田島、竹村、豊村) 第3位 栃木県・茨城県
第42回	平成6年5月3日 於・京都市立体育館	優勝 北海道(稲川、栄花英、栄花直、林、岡嶋) 第2位 東京都(梶原、吉田、寺地、水田、氏家) 第3位 大分県・岡山県
第43回	平成7年5月3日 於・京都市立体育館	優勝 北海道(稲川、栄花英、栄花直、林、古川) 第2位 愛知県(藤嶋、棚井、倉成、中山、東) 第3位 大阪府・愛媛県
第44回	平成8年5月3日 於・京都市立体育館	優勝 大阪府(福田、神崎、山本、平野、船津) 第2位 北海道(稲川、栄花英、栄花直、林、古川) 第3位 愛媛県・京都府
第45回	平成9年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 北海道(福井、佐賀、栄花、林、古川) 第2位 愛知県(関屋、野末、安藤、中山、東) 第3位 愛媛県・東京都
第46回	平成10年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 福岡県(松本、木附、藤田、大淵、彌永、小川、鳥巢) 第2位 大阪府(馬場、寒川、石田、川上、江藤、大森、船津) 第3位 奈良県・神奈川県
第47回	平成11年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(馬場、村澤、石田、川上、江藤、飯沼、山本) 第2位 愛知県(鈴木、関屋、青山、上山、近本、中山、山崎) 第3位 神奈川県・福岡県
第48回	平成12年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(甲斐、滝崎、石田、川上、寺本、平野、山本) 第2位 東京都(山本、福住、桂、田島、関、小笠、佐藤) 第3位 兵庫県・鹿児島県
第49回	平成13年5月3日 於・大阪市、舞洲アリーナ	優勝 大阪府(馬場、田中、石田、今泉、佐藤、平野、神崎) 第2位 三重県(駒田、慶金、井上、山下、國武、川嶋、山村) 第3位 東京都・福岡県
第50回	平成14年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 東京都(朝比奈、香川、松浦、笹木、深谷、宮本、恩田) 第2位 埼玉県(村山、内田、金子、金子、東永、榑崎、加治屋) 第3位 兵庫県・北海道
第51回	平成15年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(甲斐、石塚、石田、今泉、佐藤、平野、戸高) 第2位 宮城県(佐藤、菅原、大山、千葉、遠藤、柳、佐々木) 第3位 東京都・静岡県
第52回	平成16年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 岡山県(坪田、寺尾、稲垣、横田、鈴木、竹内、山根) 第2位 千葉県(古室、中川、黒川、石井、蒔田、綾部、林) 第3位 大阪府・兵庫県
第53回	平成17年5月1日 於・大阪市中央体育館	優勝 岡山県(坪田、穂崎、稲垣、三宅、鈴木、竹内、山根) 第2位 静岡県(内田、片岡、美和、内田、濱田、松井、小山) 第3位 兵庫県・大阪府
第54回	平成18年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 東京都(庄島、神崎、鈴木、栗原、内村、山本、寺地) 第2位 大阪府(大辻、滝崎、石田、川上、寺本、松原、石田) 第3位 岡山県・埼玉県
第55回	平成19年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(馬場、榑林、三宅、川上、寺本、吉村、江藤) 第2位 千葉県(井沢、佐藤、小室、谷口、岩下、木村、白石) 第3位 茨城県・岡山県
第56回	平成20年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 東京都(小池、高村、久木山、天野、内村、立見、大島) 第2位 京都府(杉本、葛田、田中、小川、高島、木佐、高橋) 第3位 神奈川県・千葉県
第57回	平成21年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(東、後藤、滝崎、久保、寺本、窪田、山本) 第2位 京都府(堀場、北、梅木、小川、中野、廣田、藤元) 第3位 東京都・兵庫県

第58回	平成22年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 東京都(齊藤、若松、梅山、天野、内村、立見、林) 第2位 福岡県(檜原、松崎、濱地、在津、森、田中、清田) 第3位 茨城県・北海道
第59回	平成23年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 大分県(日隈、三雲、中村、姫野、横山、村上、笠谷) 第2位 福岡県(竹ノ内、松崎、林田、久保山、森、立花、清田) 第3位 大阪府・山口県
第60回	平成24年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 東京都(小林、本川、青木、江刺家、松脇、山本、寺地) 第2位 茨城県(宮本、川井、村上、鈴木、遅野井、大津、阿部) 第3位 大分県・福岡県
第61回	平成25年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 東京都(佐々木、宮本、庄司、天野、正代、山本、恩田) 第2位 福岡県(勇、竹ノ内、甲斐、江田、村方、下川、橋本) 第3位 大分県・千葉県
第62回	平成26年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 熊本県(山田、山下、河上、メ、西村、諏訪元、清水) 第2位 福岡県(矢野、竹ノ内、西村、江田、森、下川、彌永) 第3位 東京都・静岡県
第63回	平成27年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 和歌山県(橋本、加納、吉田、藤岡、笠原、山本、宮戸) 第2位 佐賀県(岡、久田松、西村、筒井、笹川、田中、稲富) 第3位 京都府・大阪府
第64回	平成28年4月29日 於・エディオンアリーナ (大阪府立体育会館)	優勝 埼玉県(曾田、泉、水森、木野内、足立、橋本、金田) 第2位 愛媛県(橋本、村上、大亀、高橋、村上、大田、新谷) 第3位 大阪府・三重県
第65回	平成29年4月29日 於・エディオンアリーナ (大阪府立体育会館)	優勝 東京都(曾我部、本間、鈴木、村瀬、畠中、高村、笹川) 第2位 大阪府(廣崎、奥山、足達、山本、大城戸、田中、江藤) 第3位 兵庫県・愛知県
第66回	平成30年4月29日 於・エディオンアリーナ (大阪府立体育会館)	優勝 北海道(青木、山田、對島、上村、安藤、野口、栄花) 第2位 茨城県(岩部、中根、山下、鈴木、海老原、矢口、山下) 第3位 広島県・熊本県
第67回	平成31年4月29日 於・エディオンアリーナ (大阪府立体育会館)	優勝 三重県(寫田、中村、井上、伊藤、山下、中田、井上) 第2位 茨城県(木村、松崎、筒井、安田、小池、矢口、鍋山) 第3位 岡山県・大阪府
第68回	令和2年4月29日 於・エディオンアリーナ (大阪府立体育会館)	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
第69回	令和3年12月26日 於・和歌山ビッグホエール	優勝 和歌山県(佐々木、松下、小幡、小川、小倉、吉田、山本) 第2位 熊本県(山野、前原、坂熊、澤田、西村、佐藤、山本) 第3位 長崎県・福岡県
第70回	令和4年4月29日 於・エディオンアリーナ (大阪府立体育会館)	優勝 茨城県(熊木、武蔵、松崎、佐々木、阿部、矢口、中村) 第2位 愛知県(中村、大串、山田、芳賀、吉武、鈴木、近本) 第3位 大阪府・福岡県
第71回	令和5年4月29日 於・エディオンアリーナ (大阪府立体育会館)	優勝 大阪府(石塚、林、山崎、吉田、草野、野中、平田) 第2位 福岡県(関、池田、西村、小森、牧島、林田、大淵) 第3位 千葉県・東京都
第72回	令和6年4月29日 於・エディオンアリーナ (大阪府立体育会館)	優勝 東京都(久保木、池田、岩川、安藤、宮本、本川、島村) 第2位 埼玉県(小林、岸、泉、貝塚、八木、竹越、菊地) 第3位 大阪府・広島県
第73回	令和7年4月29日 於・和歌山ビッグホエール	優勝 第2位 第3位

月刊 剣窓

—— 剣道人 必読の書 ——

月刊『剣窓』は、剣道人および剣道に関心をお持ちの方々に、剣道に関する情報を提供するものです。

日頃の稽古や講習など、さまざまな活動の場において、互いに情報を共有していれば指導しやすく、また学びやすい——切磋琢磨する剣士の実用書として是非ご活用ください。

主な内容

各界人による巻頭コラム「剣筆」／全剣連の動き、各専門委員会の活動報告／全剣連が関与する各大会の記録、観戦記・総評／大会・審査会・講習会などの行事予告、要項／称号・段位（六段以上）審査合格者、審査員寸評／五段審査合格者／国際剣道に関する情報、海外派遣報告／講習会などの講話および指導内容の要旨／随筆、寄稿、歴史読物など

〈年間購読料(12回分) 税・送料込 3,300円〉

お申し込み

お申し込みは、随時受け付けております。所定の郵便払込取扱票にて、お振り込みください。お手元に所定の郵便払込取扱票が無い場合は、最寄りの郵便局備え付けの郵便払込取扱票に、次の口座番号「00100-9-116250」ならびに加入者名「全日本剣道連盟」をご記入の上、お手続きください。

また、オンラインショップでもお求めいただけます。

<https://zenkenren-shop.com/kenso/>

お問い合わせ

全日本剣道連盟九段事務所

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-14 靖国九段南ビル 2階

電話 03(3234)6271 FAX 03(3234)6007

全剣連ホームページ・アドレス

<https://www.kendo.or.jp/>

全剣連発行の頒布物一覧

令和7年4月現在

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)	頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道試合・審判規則	¥400	66	3	剣道講習会資料	¥500	310	8
剣道試合・審判・運営要領の手引き	¥200	43	2	剣道用具の保守・管理（英語版）	¥400	69	3
FIK 剣道試合・審判規則（和英版）	¥1,000	140	5	剣道授業の展開（DVD付き）	¥1,000	346	7
居合道試合・審判規則	¥500	55	3	絵図と写真に見る剣道文化史	¥2,500	627	11
杖道試合・審判規則	¥500	58	3	居合 DVD（英語版）	¥3,100	93	15
称号・段級位審査規則	¥400	81	3	剣道人バッジ（ネジ・タック）	各¥1,800	13	16
日本剣道形解説書	¥200	93	2	FIK バッジ（ネジ）	¥1,100	19	18
日本剣道形解説書（英語版）	¥900	240	5	男子審判用ネクタイ	¥2,500	58	16
居合解説	¥250	74	3	女子審判用ネクタイ	¥2,000	52	9
居合解説（英語版）	¥500	79	3	竹刀検査用基準器 ゲージ1 （先革先端部最小直径計測用）	¥4,500	55	3
杖道解説	¥500	186	7	竹刀検査用基準器 ゲージ2 （ちくとう対角計測用）	¥4,500	55	3
杖道解説（英語版）	¥900	183	7	竹刀検査用基準器 検査台	¥12,000	510	25
剣道指導要領	¥2,900	554	7	竹刀検査用基準器セット	¥20,000	620	28
剣道指導要領（英語版）	¥3,400	858	11	ぶしし手ぬぐい（白・紺・黄）	各 ¥600	38	4
剣道指導の手引き【二刀編】	¥1,000	144	2	ぶししクリアファイル（5枚セット）	¥500	127	2
剣道和英辞典（第3版）	¥2,100	283	14	ぶししステッカーシート	¥200	8	1
剣道社会体育教本（改訂版）	¥2,100	664	13	ぶししラバーキーホルダー	¥800	19	5
剣道医学 Q & A（第3版）	¥2,100	785	15	ぶししポロシャツ ネイビー （S・M・L・XL）	各 ¥2,500	226	20
木刀による剣道基本技稽古法	¥500	175	2	ぶししぬいぐるみ	¥4,000	256	210
木刀による剣道基本技稽古法（英語版）	¥700	173	2	設立七十周年記念出版 「全剣連と剣道界 この十年の歩み」	¥2,500	980	28

* 品物はすべて消費税込みとなります。
* 全日本剣道連盟の頒布物販売は、心力舎企画(株)に委託しております。

購入申し込み方法

- インターネットからのお申し込み…<https://zenkenren-shop.com>
- FAX でのお申し込み…心力舎企画株式会社 **03-3451-6905** へ FAX して下さい。
①品物名、②数量、③支払い方法、④発送方法、⑤氏名、⑥住所、⑦電話番号、⑧ FAX 番号 をご記入下さい。
お支払い金額（品物代金+送料）を記入したご注文確認の FAX を返信いたしますので、お支払い手続きをお願いいたします。

◎お支払い方法（②以外の手数料はお客様ご負担でお願いいたします。）

①代金引換、②クレジットカード決済、③銀行振込、④郵便振替

◎発送方法・送料（送料は、ご注文の際にお知らせいたします。）

①宅配便…送料はお申し込み品物の重量・お届け地域によって異なります。また、離島・一部地域は、別途中継手数料が発生します。

②メール便…（この場合、代金引換はご利用いただけません。）

全国一律、500円で、A4サイズ（厚さ20mmまで）の品物の配送に利用いただけます。

* オンラインショップのホームページをご利用いただくと品物の合計代金と送料が自動計算されます。

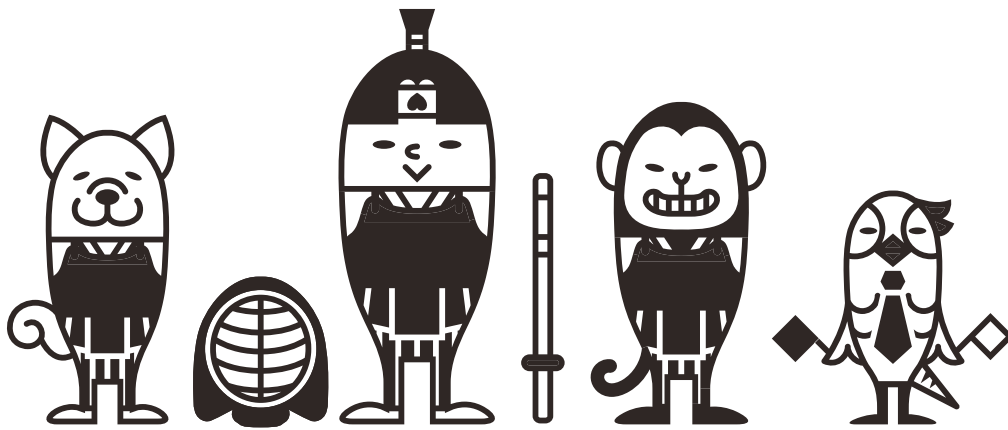
全日本剣道連盟ならびに地方代表団体一覧

(会長名・事務局所在地・電話番号・FAX番号)
令和7年4月1日現在

全日本剣道連盟	北の丸事務所	〒102-0091	東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内	TEL 03(3211)5804	FAX (3211)5807
会長 網代忠宏	九段事務所	〒102-0074	東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル 2階	TEL 03(3234)6271	FAX (3234)6007

地方代表団体	会長	〒	事務局所在地	電話	F A X
(一)北海道 剣道連盟	武田 牧雄	062-0905	札幌市豊平区豊平5条11-1 北海道立総合体育センター内	011(820)1662-1663	(820)1662-1663
青森県	三上 順一	038-0059	青森市大字油川字中道19-6	017(787)2485	(787)2485
秋田県	小松 誠	011-0945	秋田市土崎港西5-11-10	018(838)1783	(845)3255
山形県	安部美知雄	990-0025	山形市あこや町3-1-28	023(625)4825	(625)4826
岩手県	小笠原宏志	020-0133	盛岡市青山4-13-30 (公財)岩手県体育協会会館内	019(645)2220	(645)2220
(一)宮城県	井上 雅勝	982-0845	仙台市太白区門前町2-1	022(746)8461	(746)8462
福島県	長谷川弘一	960-0102	福島市鎌田字町23 サラダハウス A101号	024(597)8218	(597)8218
(一)茨城県	水田 重則	310-0903	水戸市堀町1161-13	029(251)8811	(255)6228
栃木県	白石 正範	320-0066	宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館2階	028(624)4567	(627)4001
群馬県	小林 一隆	371-0047	前橋市関根町3-27-12	027(235)0870	(235)0870
(一)埼玉県	栗原 憲一	330-0074	さいたま市浦和区北浦和5-6-5 浦和合同庁舎4階	048(834)8869	(834)8879
(一)東京都	千葉 胤道	105-0004	港区新橋4-24-2	03(5405)2166	(5405)3680
(一)千葉県	忍足 功	263-0024	千葉市稲毛区穴川2-3-20	043(285)4331	(285)4333
(一)神奈川県	野見山 延	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-17-1 相鉄・岩崎学園ビル307号	045(321)6175	(321)6176
山梨県	山本 洋一	409-3804	中央市井之口150-2	055(278)6162	(278)6163
(一)新潟県	荻 莊 誠	950-0982	新潟市中央区堀之内南3-1-21 北陽ビル2階	025(384)4784	(384)4794
(一)石川県	南 信廣	920-0811	金沢市小坂町西57-3 KSハイツ205号	076(253)0310	(253)0341
(一)富山県	大門 進	939-8076	富山市太郎丸2-77 伊勢税理士事務所内	076(492)4040	(423)6087
(一)福井県	片山 外一	910-0015	福井市二の宮2-24-18 サンライズ二の宮1-B	0776(28)6616	(28)6616
(一)長野県	二木むつみ	380-0844	長野市諏訪町503	026(237)8939	(235)8266
(一)静岡県	二橋 高弘	420-0822	静岡市葵区宮前町355	054(263)5428	(263)8367
(一)愛知県	大嶽 将文	453-0035	名古屋市中村区十王町11-22	052(481)0093	(481)0095
岐阜県	堤 俊彦	500-8384	岐阜市藪田南1-11-12 岐阜県水産会館611	058(274)1521	(274)8949
三重県	中森 博文	514-0007	津市大谷町152 大谷ハイム1-202号	059(226)5975	(229)7407
(一)滋賀県	中野 正堂	524-0022	守山市守山4-7-20 辻田ビル2階	077(514)3165	(514)3178
(一)京都府	伊吹 文明	606-8392	京都市左京区聖護院山王町19-10	075(761)8288	(761)8287
(一)大阪府	長 榮 周作	530-0044	大阪市北区東天満2-8-1 若杉センタービル別館502号	06(6351)3345	(6351)3346
(一)奈良県	吉田 克法	630-8115	奈良市大宮町5-3-14 不動ビル505号	0742(32)5008	(32)5011
和歌山県	世耕 弘成	640-8329	和歌山市田中町5-4-2	073(432)7760	(432)7759
(一)兵庫県	神谷 明文	657-0838	神戸市灘区王子町1-2-8 虹ヶ池ハイツ201号	078(861)5145	(802)5240
(一)岡山県	藤田 長久	700-0826	岡山市北区磨屋町1-1	086(235)3255	(235)3245
(一)広島県	田中 秀和	730-0014	広島市中区上幟町1-5	082(962)3076	(962)3087
(一)山口県	中西 章	753-0083	山口市後河原237-1 警察体育館別館内	083(932)5072	(932)5073
(一)鳥取県	岸田 幸	680-0036	鳥取市川端3-216 瀧本ビル3階	0857(29)2668	(29)2668
島根県	高木 弘伸	690-0883	島根県松江市北田町47-1 鬼村純方	0852(27)6222	(27)6222
香川県	三原 悦男	760-0033	高松市丸の内4-6 アラキビル2階南	087(880)4463	(880)4467
(一)愛媛県	俊野 徹人	790-0952	松山市朝生田町5-3-28 福泉ビル205号	089(941)9394	(941)3013
高知県	渡邊 三則	781-5102	高知市大津甲2009-34	090-1009-6857	
徳島県	藤川 和秋	770-0861	徳島市住吉3-9-6 栗本マンション106号	088(652)2337	(652)2360
(一)福岡県	青柳 俊彦	810-0052	福岡市中央区大濠1-1-1 福岡武道館内	092(712)1890	(712)1891
(一)佐賀県	川上 春生	849-0923	佐賀市日の出2-1-11 佐賀県スポーツ会館	0952(33)7184	(20)9888
(一)長崎県	灰谷 達明	850-0036	長崎市五島町5-34 トーカンマンション1-E	095(826)5220	(826)5220
(一)大分県	三浦 悟	870-0820	大分市西大道1-1-76 第2ハルキコーポ101号	097(547)9980	(547)9981
(一)熊本県	尾方 正照	862-0950	熊本市中央区水前寺5-23-2 熊本武道館内	096(381)8998	(381)8998
宮崎県	橋口 光博	880-2102	宮崎市大字有田371-4	0985(62)3890	(62)3893
鹿児島県	野村 良三	890-0062	鹿児島市与次郎1-4-20 県立武道館内	099(255)8778	(255)8778
(一)沖縄県	親川 光俊	900-0026	那覇市奥武山町51-2 沖縄県体協スポーツ会館501号	098(859)0410	(996)4616

祝・第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会



剣道桃太郎の挑戦！日本一を目指します！

さくら堂オリジナルキャラクター

本日出店中

さくら堂



さくら堂ショップ



7-ショップ

〒700-0824 岡山市北区内山下1丁目9-12 Tel&Fax 086-238-2263

【営業時間】 火-土 10:00-19:00 日・祝 10:00-18:00 【定休日】 月曜日（祝日は営業）・月曜祝日の翌火曜日

祝・第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

直 CHOKU

探していた甲手がここにあった！

素手感覚を実現！すぐに使えます！

甲手頭は、日本の職人が、日本で作っております。



① 6mmミシン刺し

手の内：うすくて丈夫な合成皮革
サイズ：SS

② 6mmミシン刺し

手の内：うすくて丈夫な合成皮革
サイズ：S・M・L・LL

③ 6mmミシン刺し

手の内：茶鹿革
サイズ：S・M・L・LL

④ 2分手刺し

手の内：茶鹿革
サイズ：オーダーメイド



阪神武道具

〒660-0077 兵庫県尼崎市大庄西町 1-18-21
TEL 06-6412-0050 FAX 06-6412-0058
Mail: hanshin-budogu@dune.ocn.ne.jp

祝・第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

制覇

制覇
PRO シリーズ

フィット感、軽さ、柔らかさを追求!!

現代剣道の為に作られた、理想の剣道具です。形状、素材に於いてはすべて理由があります。
 体と一体化したストレスのないフィット感は剣道家が追い求めている究極のスタイル。それを実現。
 すべての剣道家に満足していただける剣道具だと自負しております。
 新しい稽古にも良し、少しの妥協も許さない試合用にも最適です。

制覇
SEIHA

株式
会社

城西 JOSA
武道具



〒263-0015
 千葉市稲毛区作草部1-4-8
 【定休日】火曜・第一月曜

TEL : 043-285-3876
 FAX : 043-285-3771

#JOSAIBUDOGU

祝・第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会



剣道を
オリンピック競技に!

ライトステッチ刺軽量実戦型防具

“蒼天”



明倫産業株式会社

〒543-0074 大阪市天王寺区六万體町1-32

☎大阪(06)6772-3026(代)
 F A X (06)6772-3028
 E-mail: info@nipponito.co.jp

ホームページ <http://budo.nipponito.co.jp/>
 Yahoo!にも出店しています!!

明倫産業 武道具 で検索

祝、第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会
 昭和天皇皇后両陛下に御献させて頂いた
 和歌山を代表する銘菓

紀州銘菓

かげろう

「全国五つ星の手みやげ」
 に掲載

誕生から半世紀以上

1日 4万個

売れている大人気商品



※写真はイメージです。

創業昭和八年 福菱 全国地方発送可! 和歌山 かげろう  TEL: 0739-42-3128

祝、第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

中和印刷のECサイトで、

1つから
 注文OK!

今日撮った
 写真が
 アクリルスタンドに!

チームの
オリジナルグッズ
 を作る!!

スマホで撮った写真を送るだけ!
 写真の切り抜きなど難しいことはおまかせ!

- ・アクリルスタンド
- ・クリアカード
- ・卓上カレンダー
- ・ステッカー
- ・クリアコースター etc...



詳しくはコチラ



CHUWA 中和印刷紙器株式会社 〒640-8225 和歌山市久保丁4丁目53
 TEL. (073)431-4411 FAX. (073)431-8188

剣道 世界大会 応援クラブ

国内外への剣道普及を目指して

会員募集



剣道普及キャラクター
「ふしし」

剣道界最大のイベントである国際剣道連盟主催の「世界剣道選手権大会（WKC）。令和9年（2027）に日本で開催される「第20回世界剣道選手権大会（20WKC）」を契機に、全日本剣道連盟（全剣連）のWKCに関する活動を支援し、国内外への剣道振興に繋げる「剣道世界大会応援クラブ」を創設します。剣道愛好者のみなさまから賜りましたご支援を原資として、全剣連のWKC活動及び積極的な国内外での普及活動に活用させていただく制度です。みなさまのご賛同よろしくお願いいたします。

- 年会費 団体会員……………1口30,000円/年（上限1団体10口まで）
個人会員（18歳以上）……1口5,000円/年（口数に上限なし）
- 入会方法 全剣連ホームページ <https://zenkenren-shop.com/ouenclub> よりお申し込みください。
クレジットカード決済もしくは口座自動引落いずれかでの手続きとなります。
- 会員資格 団体、個人とも入金日より1年間とします。（※次年度より自動継続）
有効期限 全剣連HPに会員名簿を掲載。（※希望者のみ）
- 特典 次の特典を用意しております。（資格を得た時点から遡っての特典を受けることはできません。）①記念品（キーホルダー・ステッカー等）、②全剣連機関誌『剣窓』送付（団体会員：電子版+冊子版3部、個人会員：電子版）、③全剣連剣道カレンダー送付、④全剣連主催の一部の講習会参加費および頒布品割引（※講習会参加条件等の詳細は全剣連HPを参照ください）、⑤大会入場料関連（全日本剣道選手権大会の前売り先行申込の権利及び自由席招待券、第20回世界剣道選手権大会の入場券先行申込）、⑥全剣連所蔵の映像視聴サービス（※現在準備中）、⑦【団体会員限定】所属の道場・剣友会等の紹介動画を全剣連HPに掲載（※現在応募フォームを準備中です。そちらの要項に従って撮影の上、ご応募ください）等を予定。※メールアドレスの登録が必須となります。

現在『剣窓』の購読者も「剣道世界大会応援クラブ」に申し込めます!!

現在『剣窓』を購読されている方が申し込まれる場合は「愛読者特典」として、申込時点での残りの購読期限分を「会員資格有効期限」の1年間にプラスして延長させていただきます。次回の購読料は、会員申込手続きで選択された「クレジットカード」もしくは「口座自動引落」のいずれかで、プラスされた延長期限終了後に申込口数分の年会費のご入金をお願いいたします。『剣窓』は引き続き冊子版1部と電子版をお楽しみいただけます。

●問合せ先

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-14 靖国九段南ビル 2階
公益財団法人全日本剣道連盟 総務部マーケティング室
TEL: 03-3234-6271 FAX: 03-3234-6007

▶こちらのQRコード
からも申し込めます。



MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

あなたの竹刀は基準を満たしていますか？

長さ？

重さ？

太さ？



動画で
チェック!!



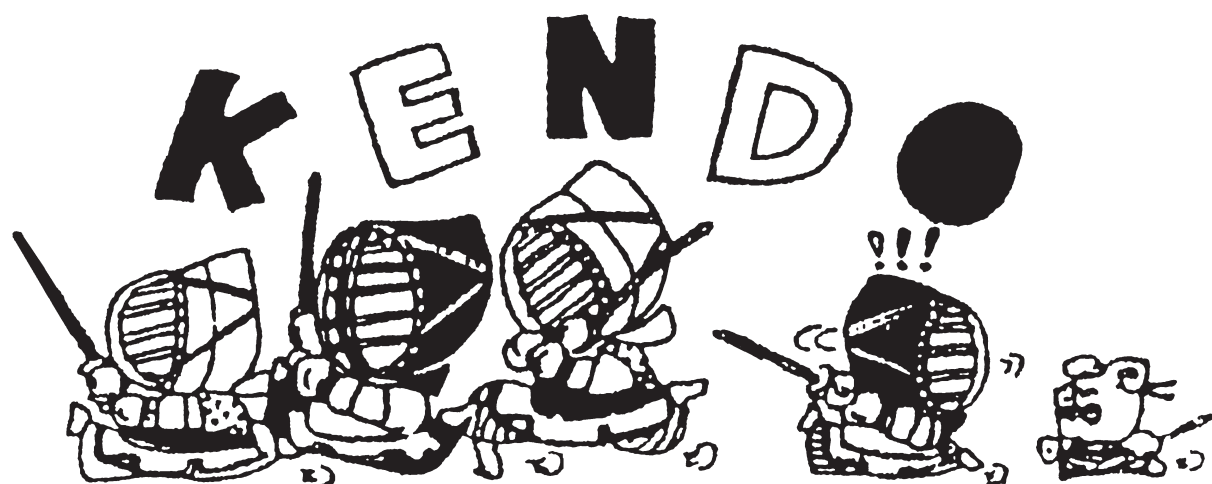
私たちは《剣道》を応援しています

メルコグループ



祝

第73回 全日本都道府県対抗剣道優勝大会



創業 92年

津村 武道具店

〒640-8269 和歌山市小松原通2丁目1番地

TEL (073) 422-9956

FAX (073) 423-2932

〈定休日 火曜日〉